

# 地域医療に関するアンケート調査

[調査報告書]

令和元年 11 月

全国健康保険協会 鹿児島支部



# 目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査時期	1
(4) 回収結果	1
(5) 集計上の注意点	1
(6) 回答者の属性	1
2. 調査結果の概要	3
(1) かかりつけ医について	3
(2) 通常の診察時間以外における病院の受診について	3
(3) 地域の医療に対する満足度について	4
(4) 地域医療構想について	4
(5) 地域医療に対するニーズについて	5
(6) 協会けんぽに意見発信を期待する事項について	6
3. 調査結果	7
(1) 回答者属性	7
① 性別	7
② 年代	7
③ 居住地域	7
④ 医療機関の受診状況	8
(2) かかりつけ医について	10
① かかりつけ医の有無	10
② かかりつけ医がない理由	12
③ かかりつけ医を探すときに役立つ情報	14
(3) 通常の診療時間以外における受診について	16
① 最近1年間の時間外診療受診の有無	16
② 時間外診療を受診した理由	18
③ 時間外診療を受けなかった理由	20
④ 「コンビニ受診」を減らすための施策	22
(4) 地域医療に対する満足度	24
① 居住地域の医療に対する満足度	24
② 地域の医療施設の数について	26

③ 地域に「無くて困ってる」または「無いと不安である」診療科について.....	28
(5) 地域医療構想について .....	30
① 地域医療構想についての認知度 .....	30
② 地域医療構想の背景にある課題についての認知度.....	32
③ 医療機関の種類（一次～三次）とそれぞれの役割に関する認知度.....	34
④ 「地域医療構想」における医療機関の機能についての認知度.....	36
(6) 地域医療に対するニーズ .....	38
① 受診の仕組みの認知度 .....	38
② 紹介状利用の際、医療機関の連携に期待すること.....	40
③ 在宅医療の必要性について.....	42
④ 在宅医療等支援体制の整備状況 .....	44
⑤ 在宅医療等促進のための環境整備 .....	46
⑥ 将来の地域医療における重要な役割と課題.....	48
(7) 協会けんぽに意見発信を期待する事項.....	50
4 調査票.....	53

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

協会けんぽ加入者の地域医療に関する意識や意見、要望等を把握し、関係者への発信等、保険者機能発揮のための企画立案に資する基礎資料とする。特に、「地域医療構想」の策定のための協議の場において、加入者のニーズが地域の医療に取り入れられるよう、貴重な加入者の生の声として発信していく。

## (2) 調査対象者

鹿児島医療圏及び南薩医療圏において、協会けんぽ鹿児島支部に加入している事業所の事業主及び健康保険委員（合計 2,213 件）

※協会けんぽの健康保険事業の推進のため、広報・相談・モニター等にご協力いただく被保険者の方を「健康保険委員」として委嘱しています。

## (3) 調査時期

令和元年 9 月

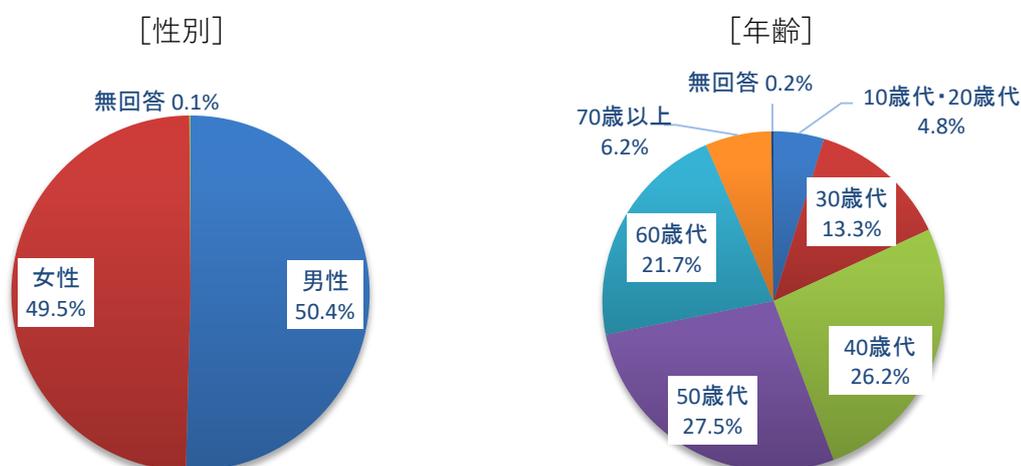
## (4) 回収結果

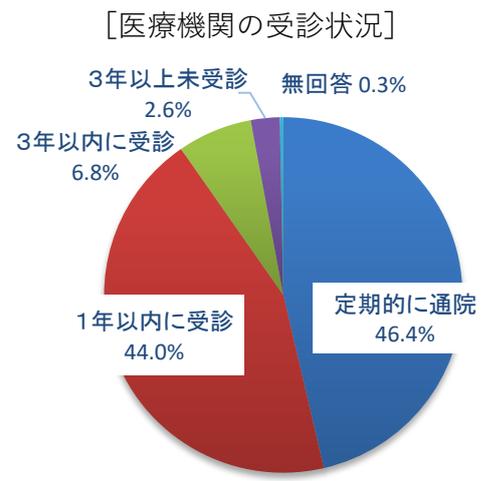
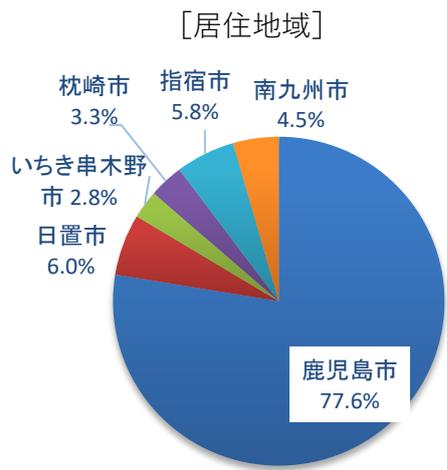
有効回答数 962（回収率 43.5%）

## (5) 集計上の注意点

集計結果は百分率で算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。

## (6) 回答者の属性





## 2. 調査結果の概要

協会けんぽ鹿児島支部の加入者等 962 人（男性 485 人、女性 476 人）を対象に、地域医療に関するアンケート調査を実施した結果の概要は、以下のとおりです。

### (1) かかりつけ医について

- 約 5 割は「かかりつけ医がいる」。
- かかりつけ医を探すときに役立つ情報は、子育て世代は「時間外、緊急時の対応」、60 歳以上の世代は「往診などの在宅医療の可否」。

「かかりつけ医」については、約半数が「かかりつけ医がいる」と回答しており、その約 8 割が定期的に医療機関を受診している者であった。一方、かかりつけ医のいない理由としては、「現在、健康でかかりつけ医をもつ必要がないから」という回答が最も多かった。かかりつけ医を探すときに役立つ情報としては、子育て世代（30 歳代、40 歳代）では、「時間外、緊急時の対応」と回答する者の割合が、他年代に比較して高い傾向がみられた。また、60 歳以上の世代では、「往診などの在宅医療の可否」と回答する割合が他の世代よりも高い傾向にあった。

### (2) 通常の診察時間以外における病院の受診について

- 最近 1 年間で時間外診療を受けた人は約 1 割。理由は、「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」が多いが、40 歳代と 50 歳代で「平日日中は医療機関に行く時間がない」が他年代より多くなっている。
- コンビニ受診を減らすための施策は、全体では「夜間専門医院の開設」が多いが、10 歳代と 20 歳代では「受診のために休暇を取りやすくする環境の整備」が、子育て世代（30 歳代、40 歳代）では「小児救急電話相談（#8000）など救急相談機関の周知徹底、取組の推進」が最も多く、年代によってばらつきがあった。

「時間外診療」に関する質問では、最近 1 年間の時間外診療については約 9 割が「ない」と回答し、年代が上がるにつれて、時間外診療を受けてない比率が 60 歳代をピークに高くなった。時間外診療を受診した理由は、全年代において「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」という回答が最も多かったが、「平日日中は医療機関に行く時間がない」という回答の割合が、40 歳代と 50 歳代において突出して高かった。

時間外診療を受診しなかった理由としては、70 歳代以外は「医療機関に行く機会（必要）がなかった」という回答が最も多かったが、70 歳代では「平日の日中に行くようにしている」との回答が最多であった。

地域別では、65 歳以上の高齢者が多い市町村ほど「平日の日中に行くようにしている」と回答するものが多い傾向が認められた。

コンビニ受診を減らすための施策としては、全体では「夜間専門医院の開設」と回答し

た者の割合が最も多かった。

年代別では、子育て世代（30歳代、40歳代）で「小児救急電話相談（#8000）など救急相談機関の周知徹底、取組の推進」と回答した者の割合が最も高かった。10歳代、20歳代では、「受診のために休暇を取りやすくする環境の整備」と回答した者の割合が最も高かった。

### (3) 地域の医療に対する満足度について

- 地域医療への満足度は、約 3/4 が「満足している」。年代が上がるにつれて満足度が高くなる傾向がみられる。
- 約 8 割が、医療施設の数に満足しているが、10歳代と20歳代では「産婦人科」、子育て世代では「小児科」、40歳代では「眼科」、50歳代は「脳神経外科」と「皮膚科」、60歳以上では、「眼科」と「脳神経外科」と回答する者が多い。

「地域医療への満足度」に関する質問では、回答者の 3/4 が「満足している」と回答し、年代が上がるにつれて満足している割合が上昇していた。一方、地域医療に対する不満については、全体の約 15%が「満足していない」と回答しており、年代が上がるにつれて不満度が低下する傾向がみられた。

鹿児島市以外の地域において、人口 10 万人あたりの小児科系診療所数が少ないほど、地域医療に対する不満度が高くなる傾向がみられた。

医療施設の数については、全体の約 8 割が現状の医療施設の数に満足していた。

「地域に無くて困っている」または「無いと不安である」診療科は、「眼科」と「皮膚科」が多かった。

30歳代では、半数近くが「小児科」と回答しており、他の世代より高率であった。また、10歳代、20歳代では「産婦人科」、40歳代では「眼科」、50歳代では「脳神経外科」と「皮膚科」、60歳以上の高齢者では、「眼科」および「脳神経外科」と回答する者が多く、それぞれの年代で直面する可能性の高い傷病に対応する診療科が望まれていた。

### (4) 地域医療構想について

- 「地域医療構想」およびその背景にある課題の認知度は 1 割に満たない。約 6 割が「知らない」と回答している。
- 医療機関の種類および役割の認知度は 1 割程度にとどまっている。
- 医療機関の機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）について、半数近くが「知らない」と回答しており、周知が行き届いていないことが明らかになった。

「地域医療構想」に関する質問では、「鹿児島県が策定した地域医療構想について知っているか」という質問や地域医療構想の背景にある課題に対し、約 6 割が「知らない（初めて聞いた）」と回答しており、多くの県民が地域医療構想に関する知識がないことが明らかになった。

医療機関の種類および役割に関する認知度については、「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」と答えたのは全体の12.1%に過ぎなかった。

「地域医療構想」における各医療機関の機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の認知度については、半数近くが「知らない、（初めて聞いた）」と回答しており、周知が行き届いていないことが明らかになった。

## (5) 地域医療に対するニーズについて

- 紹介状の仕組みについて9割近くが理解しており、認知度は非常に高い。また、紹介状利用の際の医療機関の連携に対して、利便性よりも医療の質の向上を期待する人が多い。
- 8割を超える人が、在宅医療が必要であるとしている。
- 在宅医療等支援体制の整備状況に対して、過半数が「わからない」としている。また、「受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備」が在宅医療等促進のために必要であると考えている人が多い。
- 将来の地域医療に、「五大疾病対策」や「認知症対策」が重要な役割や課題であると考える人が多い。地域別では、日置市、南九州市、南さつま市は、「病院までの交通手段の確保」との回答も多い。

病気になった場合、まずかかりつけ医を受診し、専門的な検査等が必要な時に紹介状を持って急性期病院を受診するという仕組みについては、全体の9割近くが本仕組みを認識していることが明らかになった。しかし、中高年層（30～50歳代）は他年代に比較して本仕組みを認識はしているが、内容を理解していないものが多いという結果が得られた。

紹介状利用の際、医療機関の連携に期待することとしては、利便性よりも、医療の質の向上を期待するものが多かった。

在宅医療の必要性については、全体の8割以上が「必要」と回答していた。男女別では、男性の方が「必要」と回答している割合が高く、年代別では、40歳代で「必要」と回答する割合が最も低く、介護される世代になるにつれて「必要」と回答する割合が増加していた。

在宅医療等支援体制の整備状況に関する質問では、過半数以上の人が在宅医療支援体制等について知らないという結果が得られた。居住地域別では、鹿児島市と日置市において「整っている」と回答する割合が高く、南九州市、南さつま市および指宿市で、「整っていない」と回答した割合が高かった。

在宅医療等促進のために必要と考える環境整備については、「受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備」が最も割合が高かった。

将来の地域医療において重要と考えられる役割や課題については、「五大疾病対策」および「認知症対策」と回答した人が多かった。日置市、南九州市、南さつま市では、「病院までの交通手段の確保」と回答した人が多かった。

## (6) 協会けんぽに意見発信を期待する事項について

- 全体では、約5割が「救急・緊急医療の充実化」や「高齢者医療・介護体制の充実」と回答している。
- 年代別にみると、若い世代は「地域への高度医療導入」「救急・緊急医療の充実化」に関する意見発信を、協会けんぽに期待しており、中高年層では「高齢者医療の充実」「在宅医療、介護者へのケアの充実」に関する意見発信を、協会けんぽに期待している。

協会けんぽに意見発信を期待する事項について、全体では「脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時（待てない・選べない状況等）の速やかな受療」や「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実」と回答する人が多かった。

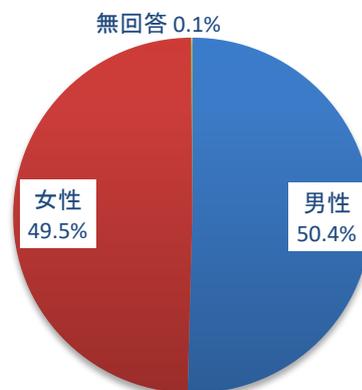
世代別では、若い世代ほど「地域への高度医療導入」、「救急・緊急医療の充実化」、年代が上がるにつれて「高齢者医療・介護体制の充実」、「在宅医療、介護者へのケアの充実」に関する要望が高くなっている。

### 3. 調査結果

#### (1) 回答者属性

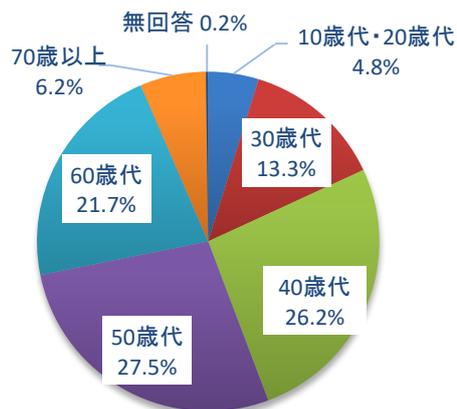
##### ① 性別

対象は協会けんぽ鹿児島支部の加入者等 962 人で、内訳は男性 485 人 (50.4%)、女性 476 人 (49.5%) であった。



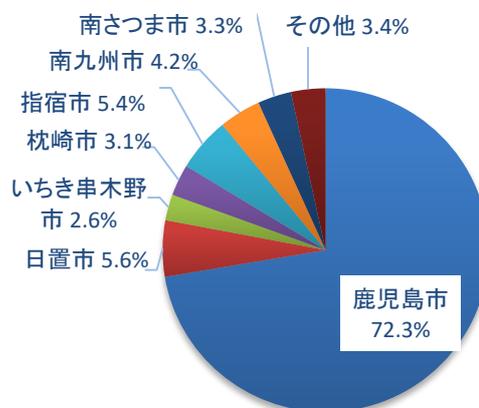
##### ② 年代

年代別では、10～20 歳代 46 人 (4.8%)、30 歳代 128 人 (13.3%)、40 歳代 252 人 (26.2%)、50 歳代 265 人 (27.5%)、60 歳代 209 人 (21.7%)、70 歳以上 60 人 (6.2%) と、40～60 歳代の中高年齢層が回答者全体の 4 分の 3 を占めた。



##### ③ 居住地域

回答者の居住地域については、鹿児島市 696 人 (72.3%)、日置市 54 人 (5.6%)、いちき串木野市 25 人 (2.6%)、枕崎市 30 人 (3.1%)、指宿市 52 人 (5.4%)、南九州市 40 人 (4.2%)、南さつま市 32 人 (3.3%)、その他 33 人 (3.4%) であり、当該地域間の人口比重と高い線形相関がみられた。

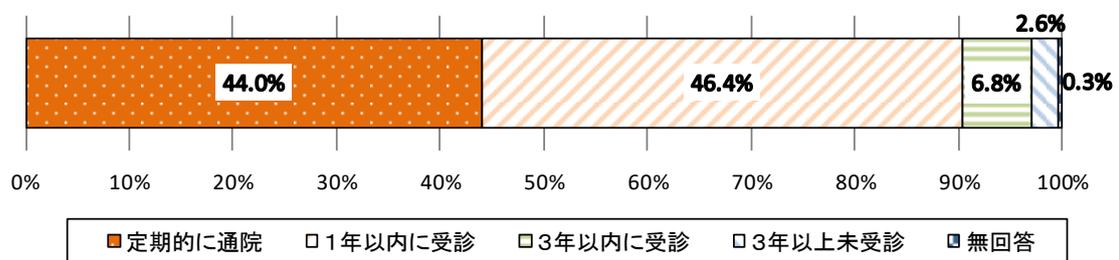


#### ④ 医療機関の受診状況

回答者の医療機関の受診状況については、「1年以内に受診」と答えた人が全体の46.4%と最も多く、年代別では40歳代以下では、「定期的に通院している」人の割合が3割以下であったのに対し、50歳代以上では「定期的に通院している」と答えた人の割合が5割を超え、70歳以上では83.3%が「定期的に通院している」と回答していた。

居住地域別では、「定期的に通院している」と答えた人の割合は、指宿市で最も高く(53.8%)、鹿児島市(45.4%)と南九州市(42.5%)で低かった。一方、3年以上未受診の割合は、いちき串木野市で最も高かった(4.0%)。

[医療機関の受診状況]



問4 あなたは、病院や診療所（クリニック）などの医療機関にはどれくらい受診していますか。

		サンプル数	定期的に 通院	1 年 以 内 に 受 診	3 年 以 内 に 受 診	3 年 以 上 未 受 診	無 回 答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)					
全体		962 100.0%	423 44.0%	446 <b>46.4%</b>	65 6.8%	25 2.6%	3 0.3%
性別	男性	485 100.0%	254 <b>52.4%</b>	185 38.1%	31 6.4%	14 2.9%	1 0.2%
	女性	476 100.0%	191 40.1%	238 <b>50.0%</b>	34 7.1%	11 2.3%	2 0.4%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	8 17.4%	31 <b>67.4%</b>	5 10.9%	1 2.2%	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	34 26.6%	76 <b>59.4%</b>	16 12.5%	2 1.6%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	69 27.4%	149 <b>59.1%</b>	20 7.9%	12 4.8%	2 0.8%
	50歳代	265 100.0%	135 <b>50.9%</b>	111 41.9%	14 5.3%	5 1.9%	0 0.0%
	60歳代	209 100.0%	149 <b>71.3%</b>	48 23.0%	8 3.8%	4 1.9%	0 0.0%
	70歳以上	60 100.0%	50 <b>83.3%</b>	7 11.7%	2 3.3%	1 1.7%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	316 <b>45.4%</b>	311 44.7%	46 6.6%	20 2.9%	3 0.4%
	日置市	54 100.0%	26 <b>48.1%</b>	24 44.4%	3 5.6%	1 1.9%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	12 <b>48.0%</b>	11 44.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	15 <b>50.0%</b>	10 33.3%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%
	指宿市	52 100.0%	28 <b>53.8%</b>	21 40.4%	3 5.8%	0 0.0%	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	17 42.5%	19 <b>47.5%</b>	4 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	17 <b>53.1%</b>	11 34.4%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	15 45.5%	16 <b>48.5%</b>	1 3.0%	1 3.0%	0 0.0%

## (2) かかりつけ医について

### ① かかりつけ医の有無

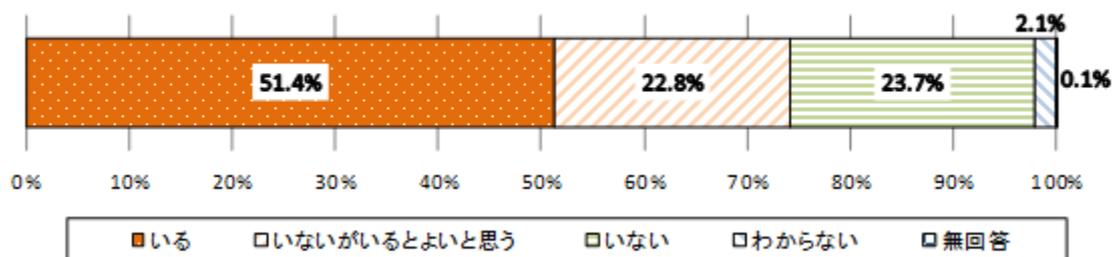
全体の約5割が、「かかりつけ医がいる」と回答していた。

定期的に通院している者の78.5%が「かかりつけ医がいる」と答えている一方、3年以上未受診の者の64.0%が「かかりつけ医がない」と回答しており、かかりつけ医の有無と受診頻度との間には相関があると考えられる。

年代別では、「かかりつけ医がいる」と回答している者の割合は、10歳代・20歳代では32.6%、70歳以上では86.7%と、年代が上がるにつれて増加していた。

地域別では、南九州市（62.5%）および指宿市（59.6%）においては「かかりつけ医がいる」と回答した人の割合が高かったが、いちき串木野市では「かかりつけ医がいる」と回答した割合が40%と低く、逆に「かかりつけ医がない」（48%）と答えた者のほうが多かった。

[かかりつけ医の有無]



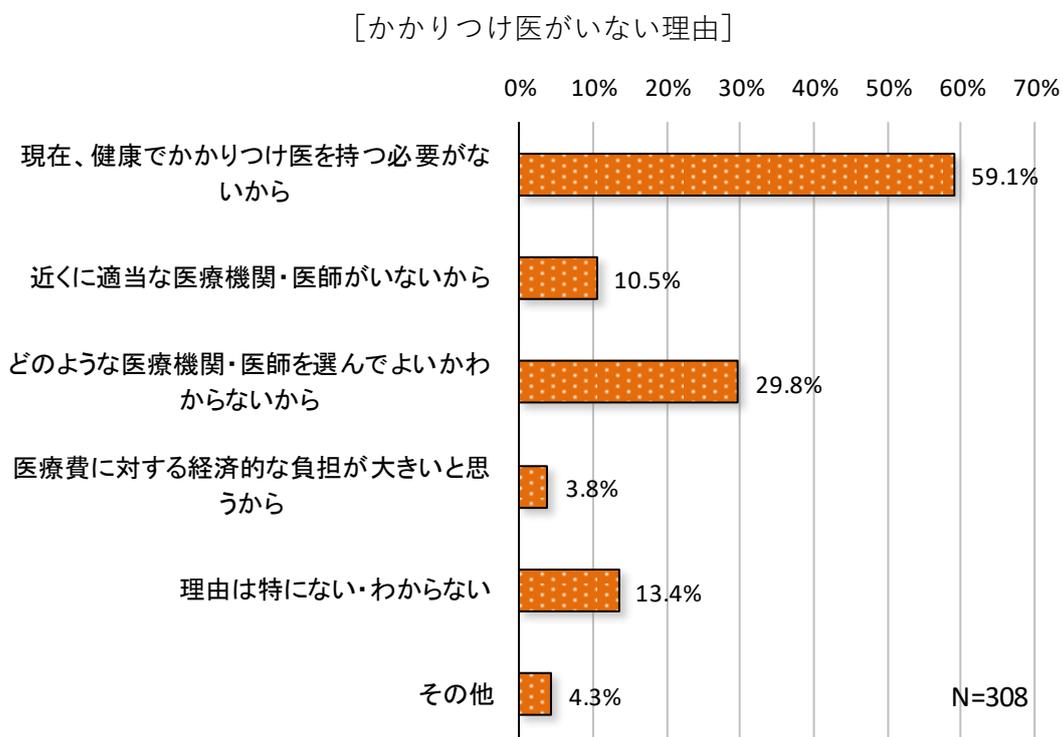
問5 あなたには、かかりつけ医がいますか。

		サンプル数	いる	よい ない と思う	いない	わからない	無回答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)					
全体		962 100.0%	494 <b>51.4%</b>	219 22.8%	228 23.7%	20 2.1%	1 0.1%
性別	男性	485 100.0%	257 <b>53.0%</b>	91 18.8%	128 26.4%	8 1.6%	1 0.2%
	女性	476 100.0%	236 <b>49.6%</b>	128 26.9%	100 21.0%	12 2.5%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	15 <b>32.6%</b>	14 30.4%	15 <b>32.6%</b>	2 4.3%	0 0.0%
	30歳代	128 100.0%	43 <b>33.6%</b>	40 31.3%	41 32.0%	4 3.1%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	91 <b>36.1%</b>	82 32.5%	74 29.4%	4 1.6%	1 0.4%
	50歳代	265 100.0%	142 <b>53.6%</b>	52 19.6%	65 24.5%	6 2.3%	0 0.0%
	60歳代	209 100.0%	149 <b>71.3%</b>	25 12.0%	31 14.8%	4 1.9%	0 0.0%
	70歳以上	60 100.0%	52 <b>86.7%</b>	6 10.0%	2 3.3%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	696 100.0%	353 <b>50.7%</b>	159 22.8%	170 24.4%	14 2.0%	0 0.0%
	日置市	54 100.0%	29 <b>53.7%</b>	12 22.2%	12 22.2%	1 1.9%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	10 <b>40.0%</b>	4 16.0%	8 32.0%	3 12.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	14 <b>46.7%</b>	9 30.0%	5 16.7%	1 3.3%	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	31 <b>59.6%</b>	10 19.2%	11 21.2%	0 0.0%	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	25 <b>62.5%</b>	6 15.0%	9 22.5%	0 0.0%	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	17 <b>53.1%</b>	7 21.9%	7 21.9%	1 3.1%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	15 <b>45.5%</b>	12 36.4%	6 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	350 <b>78.5%</b>	46 10.3%	39 8.7%	10 2.2%	1 0.2%
	1年以内に受診	423 100.0%	124 29.3%	144 34.0%	148 <b>35.0%</b>	7 1.7%	0 0.0%
	3年以内に受診	65 100.0%	15 23.1%	24 36.9%	25 <b>38.5%</b>	1 1.5%	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	3 12.0%	4 16.0%	16 <b>64.0%</b>	2 8.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## ② かかりつけ医がない理由

全年代において、かかりつけ医がない理由として「現在、健康でかかりつけ医をもつ必要がないから」という回答の割合が最も高く（59.1%）、次いで「どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから」と回答する人が多かった（29.8%）。一方、年代が上がるにつれて、「近くに適切な医療機関・医師がないから」という回答の割合が上昇した。

「かかりつけ医がない」と回答した者の割合が高かったいちき串木野市では、他地域と比べて「現在、健康でかかりつけ医をもつ必要がないから」と回答した者の割合が最も高かった（83.3%）が、地域と健康との間には一定の相関は認められなかった。



問6 かかりつけ医がない理由は何ですか。

		サンプル数	要り が な い か ら 必 か	現 在 、 健 康 で つ か	機 関 に 適 当 な 医 療	近 く に 適 当 な 医 療	か ら い か わ か ら な い	ど の よ う な 医 療 機	い 濟 的 な 負 担 が 大 き	医 療 費 に 対 す る 経	わ ら は な い に な い	理 由 は 特 に な い	そ の 他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)											
全体		447	264 59.1%	47	133	17	60	19					
性別	男性	219	126 57.5%	21	57	8	40	8					
	女性	228	138 60.5%	26	76	9	20	11					
	無回答	0	0 0.0%	0	0	0	0	0					
年代別	10歳代・20歳代	29	23 79.3%	2	8	2	2	0					
	30歳代	81	46 56.8%	7	25	4	14	5					
	40歳代	156	93 59.6%	14	45	8	24	4					
	50歳代	117	63 53.8%	14	38	3	15	8					
	60歳代	56	34 60.7%	8	16	0	5	1					
	70歳以上	8	5 62.5%	2	1	0	0	1					
	無回答	0	0 0.0%	0	0	0	0	0					
居住地	鹿児島市	329	189 57.4%	33	109	13	40	17					
	日置市	24	16 66.7%	5	6	1	2	1					
	いちき串木野市	12	10 83.3%	0	4	1	1	1					
	枕崎市	14	9 64.3%	2	5	1	1	0					
	指宿市	21	14 66.7%	0	3	0	6	0					
	南九州市	15	12 80.0%	2	1	0	1	0					
	南さつま市	14	7 50.0%	1	3	0	4	0					
	その他	18	7 38.9%	4	2	1	5	0					
医療機関の受診状況	定期的に通院	85	30 35.3%	14	39	2	9	5					
	1年以内に受診	292	186 63.7%	27	75	12	41	13					
	3年以内に受診	49	32 65.3%	6	18	2	7	0					
	3年以上未受診	20	15 75.0%	0	1	1	3	1					
	無回答	1	1 100.0%	0	0	0	0	0					

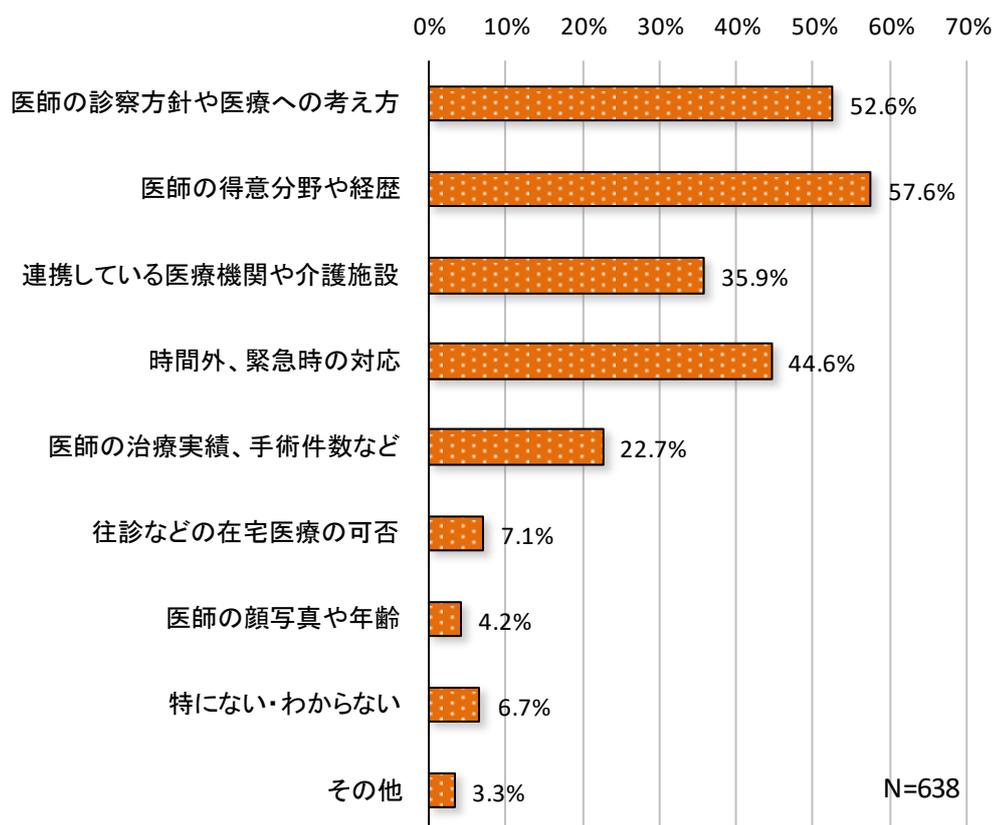
### ③ かかりつけ医を探すときに役立つ情報

かかりつけ医を探すときに役立つ情報としては、若年者では「医師の診察方針や医療への考え方」と答えた者の割合が最も高かったのに対し、30歳代以上では「医師の得意分野や経歴」と答えた者の割合が高く、医師の専門性や経験を重視する傾向がみられた。

子育て世代（30歳代、40歳代）では、「時間外、緊急時の対応」と回答する者の割合が、他年代に比較して高い傾向がみられた。また、60歳以上の世代では、「往診などの在宅医療の可否」と回答する割合が他の世代よりも高い傾向にあった。

受診頻度との関係では、「定期的に通院」、「1年以内に受診」と回答した比較的受診頻度が高い者は「医師の得意分野や経歴」と答えた者の割合が高く、「3年以内に受診」、「3年以上未受診」と回答した比較的受診頻度が低い者は「時間外・緊急時の対応」と回答する割合が最も高かった。

[かかりつけ医を探すときに役立つ情報]



問7 かかりつけ医を探すとき、どのような情報が役立つと思いますか（複数回答可）

		サンプル数	医師の診察方針や医療への考え方	医師の得意分野や経歴	連携している医療機関や介護施設	時間外、緊急時の対応	医師の治療実績、手術件数など	往診などの在宅医療の可否	医師の顔写真や年齢	特にない・わからない	その他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)									
全体		962	506 52.6%	554 57.6%	345 35.9%	429 44.6%	218 22.7%	68 7.1%	40 4.2%	64 6.7%	32 3.3%
性別	男性	485	249 51.3%	287 59.2%	175 36.1%	201 41.4%	112 23.1%	25 5.2%	23 4.7%	34 7.0%	14 2.9%
	女性	476	257 54.0%	266 55.9%	169 35.5%	228 47.9%	105 22.1%	43 9.0%	17 3.6%	30 6.3%	18 3.8%
	無回答	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46	28 60.9%	24 52.2%	9 19.6%	22 47.8%	12 26.1%	0 0.0%	1 2.2%	5 10.9%	0 0.0%
	30歳代	128	66 51.6%	76 59.4%	34 26.6%	65 50.8%	31 24.2%	9 7.0%	10 7.8%	13 10.2%	9 7.0%
	40歳代	252	128 50.8%	143 56.7%	92 36.5%	117 46.4%	50 19.8%	16 6.3%	12 4.8%	22 8.7%	8 3.2%
	50歳代	265	136 51.3%	151 57.0%	100 37.7%	116 43.8%	66 24.9%	16 6.0%	10 3.8%	10 3.8%	10 3.8%
	60歳代	209	114 54.5%	122 58.4%	93 44.5%	85 40.7%	45 21.5%	20 9.6%	7 3.3%	10 4.8%	3 1.4%
	70歳以上	60	34 56.7%	38 63.3%	17 28.3%	24 40.0%	14 23.3%	7 11.7%	0 0.0%	2 3.3%	2 3.3%
	無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696	377 54.2%	400 57.5%	256 36.8%	309 44.4%	157 22.6%	45 6.5%	29 4.2%	39 5.6%	26 3.7%
	日置市	54	34 63.0%	27 50.0%	23 42.6%	24 44.4%	11 20.4%	6 11.1%	1 1.9%	4 7.4%	1 1.9%
	いちき串木野市	25	10 40.0%	11 44.0%	4 16.0%	11 44.0%	6 24.0%	2 8.0%	2 8.0%	6 24.0%	1 4.0%
	枕崎市	30	12 40.0%	17 56.7%	10 33.3%	9 30.0%	6 20.0%	1 3.3%	1 3.3%	3 10.0%	0 0.0%
	指宿市	52	25 48.1%	36 69.2%	14 26.9%	27 51.9%	14 26.9%	3 5.8%	3 5.8%	5 9.6%	2 3.8%
	南九州市	40	18 45.0%	21 52.5%	12 30.0%	18 45.0%	5 12.5%	4 10.0%	1 2.5%	1 2.5%	0 0.0%
	南さつま市	32	14 43.8%	23 71.9%	12 37.5%	16 50.0%	8 25.0%	2 6.3%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%
	その他	33	16 48.5%	19 57.6%	14 42.4%	15 45.5%	11 33.3%	5 15.2%	3 9.1%	3 9.1%	1 3.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446	238 53.4%	263 59.0%	181 40.6%	173 38.8%	99 22.2%	34 7.6%	16 3.6%	21 4.7%	17 3.8%
	1年以内に受診	423	222 52.5%	251 59.3%	136 32.2%	206 48.7%	98 23.2%	30 7.1%	18 4.3%	35 8.3%	13 3.1%
	3年以内に受診	65	32 49.2%	28 43.1%	22 33.8%	36 55.4%	14 21.5%	3 4.6%	5 7.7%	6 9.2%	2 3.1%
	3年以上未受診	25	12 48.0%	12 48.0%	4 16.0%	13 52.0%	7 28.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%
	無回答	3	2 66.7%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

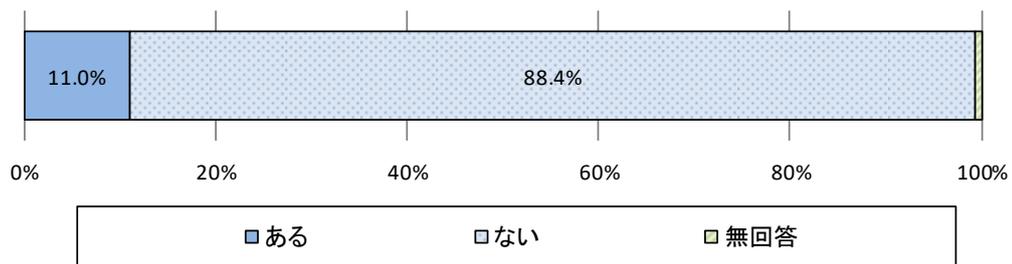
### (3) 通常の診療時間以外における受診について

#### ① 最近1年間の時間外診療受診の有無

最近1年間の時間外診療については、「ない」と回答した者の割合が高く（88.4%）、年代が上がるにつれて、時間外診療を受けない比率が60歳代をピーク（94.7%）に高くなり、70歳以上で低下した（88.3%）。

居住地による時間外診療の受診状況への影響は特に認められなかった。

[最近1年間の時間外診療受診の有無]



問8 最近1年間で、あなた自身が時間外診療を受けたことがありますか。夜間又は休日（日祝日、年末年始等）に医療機関を受診したことがありますか。

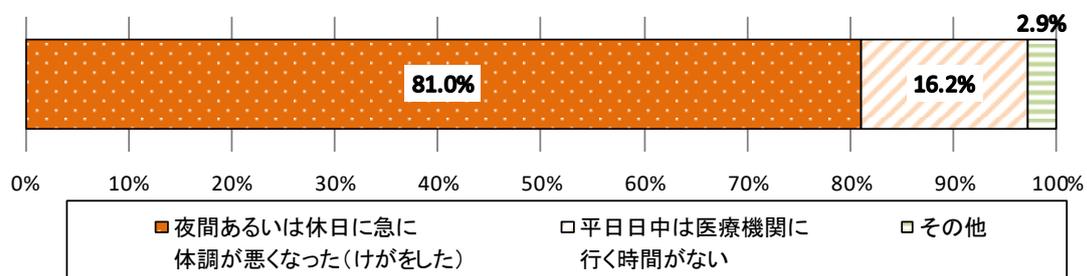
		サンプル数	ある	ない	無回答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)			
全体		962 100.0%	106 11.0%	850 <b>88.4%</b>	6 0.6%
性別	男性	485 100.0%	48 9.9%	435 <b>89.7%</b>	2 0.4%
	女性	476 100.0%	58 12.2%	414 <b>87.0%</b>	4 0.8%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	9 19.6%	36 <b>78.3%</b>	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	21 16.4%	107 <b>83.6%</b>	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	39 15.5%	212 <b>84.1%</b>	1 0.4%
	50歳代	265 100.0%	21 7.9%	242 <b>91.3%</b>	2 0.8%
	60歳代	209 100.0%	10 4.8%	198 <b>94.7%</b>	1 0.5%
	70歳以上	60 100.0%	6 10.0%	53 <b>88.3%</b>	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	78 11.2%	615 <b>88.4%</b>	3 0.4%
	日置市	54 100.0%	6 11.1%	48 <b>88.9%</b>	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	2 8.0%	22 <b>88.0%</b>	1 4.0%
	枕崎市	30 100.0%	1 3.3%	28 <b>93.3%</b>	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	8 15.4%	43 <b>82.7%</b>	1 1.9%
	南九州市	40 100.0%	7 17.5%	33 <b>82.5%</b>	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	2 6.3%	30 93.8%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	2 6.1%	31 93.9%	0 0.0%

## ② 時間外診療を受診した理由

時間外診療を受診した理由は、全年代において「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」という回答が最も多かったが、「平日日中は医療機関に行く時間がない」という回答の割合が、管理職年代である40歳代（21.1%）と50歳代（28.6%）において突出して高かった。

地域別では、日置市において「平日日中は医療機関に行く時間がない」という回答が平均に比べ高い傾向がみられた（33.3%）。

[時間外診療を受診した理由]



問9 あなたは、どのような理由で夜間又は休日に受診しましたか。

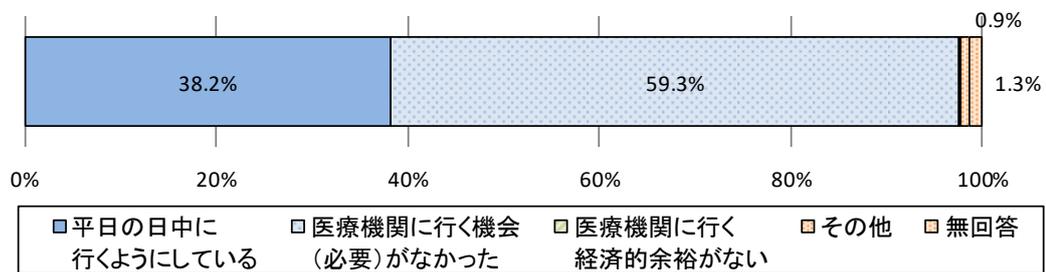
		サンプル数	が悪日夜をくしな急あしたつた体い(調はけが休)	が機平日ないに日行中は時医療	その他	無回答
上段:実数(人) 下段:割合(%)						
全体		105 100.0%	85 <b>81.0%</b>	17 16.2%	3 2.9%	0 0.0%
性別	男性	47 100.0%	40 <b>85.1%</b>	6 12.8%	1 2.1%	0 0.0%
	女性	58 100.0%	45 <b>77.6%</b>	11 19.0%	2 3.4%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	9 100.0%	8 <b>88.9%</b>	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	21 100.0%	19 <b>90.5%</b>	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%
	40歳代	38 100.0%	30 <b>78.9%</b>	8 21.1%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	21 100.0%	14 <b>66.7%</b>	6 28.6%	1 4.8%	0 0.0%
	60歳代	10 100.0%	9 <b>90.0%</b>	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	70歳以上	6 100.0%	5 <b>83.3%</b>	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	77 100.0%	62 <b>80.5%</b>	13 16.9%	2 2.6%	0 0.0%
	日置市	6 100.0%	4 <b>66.7%</b>	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	いちき串木野市	2 100.0%	2 <b>100.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	枕崎市	1 100.0%	1 <b>100.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	指宿市	8 100.0%	7 <b>87.5%</b>	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
	南九州市	7 100.0%	6 <b>85.7%</b>	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	南さつま市	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

### ③ 時間外診療を受けなかった理由

時間外診療を受診しなかった理由としては、70歳以外は「医療機関に行く機会（必要）がなかった」という回答が最も多かったが、70歳以上では「平日の日中に行くようにしている」との回答が最多であった。

医療機関の受診状況との関係では、受診頻度が高いほど「平日の日中に行くようにしている」との回答が多かった。

[時間外診療を受けなかった理由]



問 10 夜間や休日に医療機関を受診しなかった理由について教えてください。

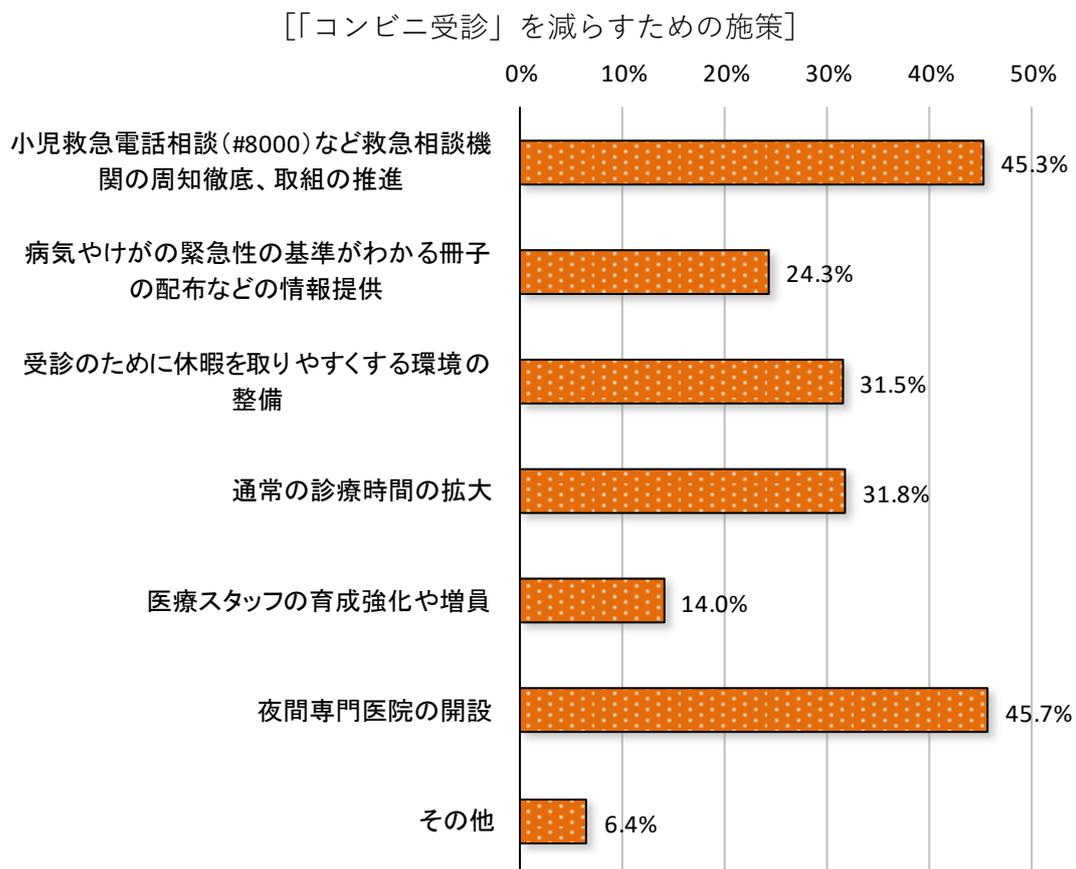
		サンプル数	平日のうちに 行く	医療機関に 行く必要が ない	経済的余裕が ない	その他	無回答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)					
全体		848 100.0%	324 38.2%	503 59.3%	2 0.2%	8 0.9%	11 1.3%
性別	男性	434 100.0%	165 38.0%	258 59.4%	1 0.2%	4 0.9%	6 1.4%
	女性	413 100.0%	159 38.5%	244 59.1%	1 0.2%	4 1.0%	5 1.2%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	36 100.0%	10 27.8%	24 66.7%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.8%
	30歳代	107 100.0%	40 37.4%	67 62.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	212 100.0%	56 26.4%	154 72.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%
	50歳代	241 100.0%	96 39.8%	135 56.0%	2 0.8%	5 2.1%	3 1.2%
	60歳代	197 100.0%	87 44.2%	104 52.8%	0 0.0%	2 1.0%	4 2.0%
	70歳以上	53 100.0%	34 64.2%	18 34.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	615 100.0%	227 36.9%	372 60.5%	1 0.2%	6 1.0%	9 1.5%
	日置市	47 100.0%	20 42.6%	26 55.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%
	いちき串木野市	22 100.0%	9 40.9%	13 59.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	枕崎市	28 100.0%	12 42.9%	16 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	指宿市	43 100.0%	19 44.2%	23 53.5%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%
	南九州市	32 100.0%	13 40.6%	19 59.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	南さつま市	30 100.0%	13 43.3%	16 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
	その他	31 100.0%	11 35.5%	18 58.1%	1 3.2%	1 3.2%	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	392 100.0%	206 52.6%	171 43.6%	2 0.5%	4 1.0%	9 2.3%
	1年以内に受診	366 100.0%	113 30.9%	247 67.5%	0 0.0%	4 1.1%	2 0.5%
	3年以内に受診	63 100.0%	4 6.3%	59 93.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	0 0.0%	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

#### ④ 「コンビニ受診」を減らすための施策

コンビニ受診を減らすための施策としては、全体では「夜間専門医院の開設」と回答した者の割合が最も多かった。

年代別では、子育て世代（30歳代、40歳代）において「小児救急電話相談（#8000）など救急相談機関の周知徹底、取組の推進」と回答した者の割合が最も高かった。10歳代・20歳代では、「受診のために休暇を取りやすくする環境の整備」と回答した者の割合が最も高かった（47.8%）。

地域別では、人口10万人あたりの小児科系診療所数の少ない日置市（6.09、2018年11月現在）と南九州市（8.25、2018年11月現在）において、「小児救急電話相談（#8000）など救急相談機関の周知徹底、取組の推進」と回答した者の割合が最も高かった。（JMAP地域医療情報システムより）



問 11 緊急性がないにもかかわらず、夜間や休日などに救急外来を受診する「コンビニ受診」が増えているといわれます。このような救急外来の受診が増えることで、重症患者への対応の遅れや医師や看護師への負担増が問題となっています。

「コンビニ受診」を減らすためにどのような施策が必要だと思いませんか。（複数回答可）

		サンプル数	機 <small>機</small> 関 <small>関</small> の周知徹底、など	小児救急電話相談、救急相談	小児救急相談	病気の冊子の配布などの基情報	病気の冊子の配布などの基情報	受診のために休暇を取りやす	通常の診療時間の拡大	医療スタッフの育成強化や増	夜間専門医院の開設	その他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)										
全体		962	436 45.3%	234 24.3%	303 31.5%	306 31.8%	135 14.0%	440 <b>45.7%</b>	62 6.4%			
性別	男性	485	219 45.2%	126 26.0%	145 29.9%	138 28.5%	77 15.9%	226 <b>46.6%</b>	37 7.6%			
	女性	476	216 <b>45.4%</b>	108 22.7%	158 33.2%	168 35.3%	58 12.2%	213 44.7%	25 5.3%			
	無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%			
年代別	10歳代・20歳代	46	20 43.5%	12 26.1%	22 <b>47.8%</b>	16 34.8%	7 15.2%	18 39.1%	1 2.2%			
	30歳代	128	59 <b>46.1%</b>	39 30.5%	42 32.8%	46 35.9%	16 12.5%	54 42.2%	8 6.3%			
	40歳代	252	115 <b>45.6%</b>	67 26.6%	83 32.9%	67 26.6%	31 12.3%	114 45.2%	24 9.5%			
	50歳代	265	119 44.9%	49 18.5%	75 28.3%	100 37.7%	40 15.1%	126 <b>47.5%</b>	22 8.3%			
	60歳代	209	100 47.8%	47 22.5%	61 29.2%	59 28.2%	30 14.4%	108 <b>51.7%</b>	5 2.4%			
	70歳以上	60	22 <b>36.7%</b>	20 33.3%	20 33.3%	17 28.3%	11 18.3%	20 33.3%	2 3.3%			
	無回答	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
居住地	鹿児島市	696	311 44.7%	160 23.0%	227 32.6%	221 31.8%	95 13.6%	324 <b>46.6%</b>	52 7.5%			
	日置市	54	30 <b>55.6%</b>	17 31.5%	17 31.5%	15 27.8%	7 13.0%	21 38.9%	3 5.6%			
	いちき串木野市	25	12 48.0%	12 48.0%	4 16.0%	3 12.0%	1 4.0%	13 <b>52.0%</b>	2 8.0%			
	枕崎市	30	14 46.7%	11 36.7%	11 36.7%	12 40.0%	4 13.3%	15 <b>50.0%</b>	2 6.7%			
	指宿市	52	19 36.5%	10 19.2%	14 26.9%	19 36.5%	10 19.2%	20 <b>38.5%</b>	2 3.8%			
	南九州市	40	19 <b>47.5%</b>	8 20.0%	8 20.0%	14 35.0%	9 22.5%	17 42.5%	1 2.5%			
	南さつま市	32	13 40.6%	7 21.9%	7 21.9%	14 <b>43.8%</b>	5 15.6%	12 37.5%	0 0.0%			
	その他	33	18 54.5%	9 27.3%	15 45.5%	8 24.2%	4 12.1%	18 54.5%	0 0.0%			
医療機関の受診状況	定期的に通院	446	202 45.3%	111 24.9%	149 33.4%	132 29.6%	59 13.2%	208 <b>46.6%</b>	27 6.1%			
	1年以内に受診	423	191 45.2%	97 22.9%	132 31.2%	150 35.5%	62 14.7%	196 <b>46.3%</b>	25 5.9%			
	3年以内に受診	65	34 <b>52.3%</b>	22 33.8%	17 26.2%	16 24.6%	9 13.8%	24 36.9%	8 12.3%			
	3年以上未受診	25	8 32.0%	3 12.0%	4 16.0%	8 32.0%	5 20.0%	12 <b>48.0%</b>	2 8.0%			
	無回答	3	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			

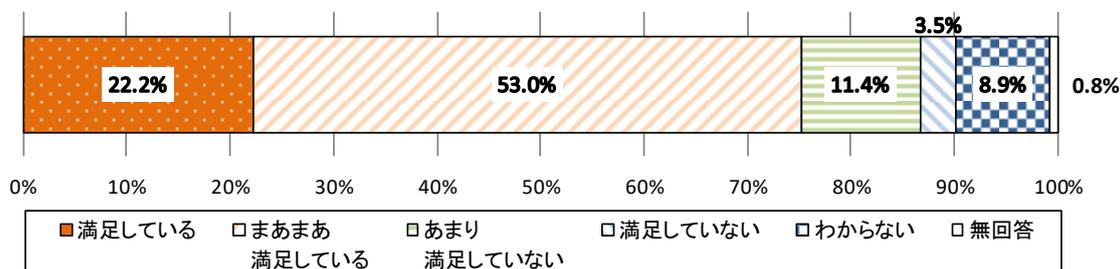
## (4) 地域医療に対する満足度

### ① 居住地域の医療に対する満足度

地域医療に対する満足度については、回答者の3/4が「満足している」「まあまあ満足している」と回答しており、年代が上がるにつれて「満足している」「まあまあ満足している」と回答する割合が上昇していた。一方、地域医療に対する不満については、全体の約15%が「あまり満足していない」「満足していない」と回答しており、年代が上がるにつれて「あまり満足していない」「満足していない」と回答する割合が低下する傾向がみられた。

地域別では、人口10万人あたりの小児科系診療所数の少ない日置市（6.09箇所）、枕崎市（9.07箇所）、南九州市（8.25箇所）において「あまり満足していない」「満足していない」と回答する者が4割を超えており、鹿児島市以外の地域において、地域医療に対する不満度と、人口10万人あたりの小児科系診療所数との間には負の相関が認められた。（JMAP 地域医療情報システムより）

[居住地域の医療に対する満足度]



問 12 あなたは、あなたがお住まいの地域の医療について満足していますか。

		サンプル数	満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	無回答
上段:実数(人) 下段:割合(%)								
全体		962 100.0%	214 22.2%	510 <b>53.0%</b>	110 11.4%	34 3.5%	86 8.9%	8 0.8%
性別	男性	485 100.0%	129 26.6%	266 <b>54.8%</b>	41 8.5%	11 2.3%	36 7.4%	2 0.4%
	女性	476 100.0%	85 17.9%	243 <b>51.1%</b>	69 14.5%	23 4.8%	50 10.5%	6 1.3%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	8 17.4%	22 <b>47.8%</b>	4 8.7%	2 4.3%	8 17.4%	2 4.3%
	30歳代	128 100.0%	26 20.3%	62 <b>48.4%</b>	18 14.1%	9 7.0%	13 10.2%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	50 19.8%	134 <b>53.2%</b>	30 11.9%	4 1.6%	32 12.7%	2 0.8%
	50歳代	265 100.0%	58 21.9%	143 <b>54.0%</b>	33 12.5%	9 3.4%	20 7.5%	2 0.8%
	60歳代	209 100.0%	49 23.4%	118 <b>56.5%</b>	22 10.5%	8 3.8%	11 5.3%	1 0.5%
	70歳以上	60 100.0%	23 38.3%	30 <b>50.0%</b>	2 3.3%	2 3.3%	2 3.3%	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	696 100.0%	180 25.9%	387 <b>55.6%</b>	46 6.6%	12 1.7%	66 9.5%	5 0.7%
	日置市	54 100.0%	2 3.7%	23 <b>42.6%</b>	18 33.3%	4 7.4%	7 13.0%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	4 16.0%	12 <b>48.0%</b>	6 24.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%
	枕崎市	30 100.0%	4 13.3%	12 <b>40.0%</b>	9 30.0%	3 10.0%	1 3.3%	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	7 13.5%	30 <b>57.7%</b>	12 23.1%	0 0.0%	2 3.8%	1 1.9%
	南九州市	40 100.0%	6 15.0%	11 <b>27.5%</b>	13 32.5%	6 15.0%	4 10.0%	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	5 15.6%	16 <b>50.0%</b>	3 9.4%	6 18.8%	2 6.3%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	6 18.2%	19 <b>57.6%</b>	3 9.1%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	111 24.9%	252 <b>56.5%</b>	45 10.1%	16 3.6%	18 4.0%	4 0.9%
	1年以内に受診	423 100.0%	84 19.9%	219 <b>51.8%</b>	51 12.1%	17 4.0%	49 11.6%	3 0.7%
	3年以内に受診	65 100.0%	12 18.5%	31 <b>47.7%</b>	11 16.9%	0 0.0%	11 16.9%	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	7 <b>28.0%</b>	7 <b>28.0%</b>	2 8.0%	1 4.0%	8 32.0%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## ② 地域の医療施設の数について

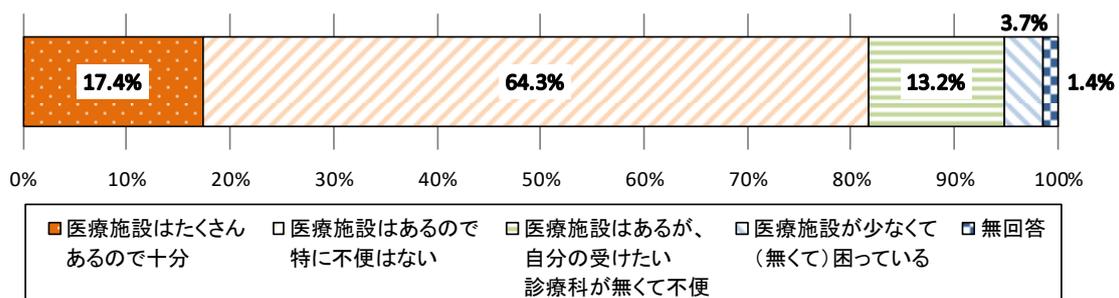
医療施設の数については、全体の8割が「医療施設はたくさんあるので十分」「医療施設はあるので特に不便はない」と回答しており、現状の医療施設の数に満足していた。

男女別では、女性（75.6%）に比し男性（87.6%）の方が、現状の医療施設の数に満足している割合が高かった。

年代との関係では、医療施設の受診頻度の低い10歳代・20歳代を除き、年代が進むにつれて「医療施設はあるが、自分の受けたい診療科がなくて不便」「医療施設が少なくて（無くて）困っている」と答える者の割合が低下していた。

居住地域別では、人口10万人あたりの一般診療所数と、「医療施設はあるが、自分の受けたい診療科がなくて不便」「医療施設が少なくて（無くて）困っている」と答える者の割合との間には、負の相関が認められた。（JMAP 地域医療情報システムより）

[地域の医療施設の数について]



問 13 お住まいの地域の医療施設についてどのように感じていますか。

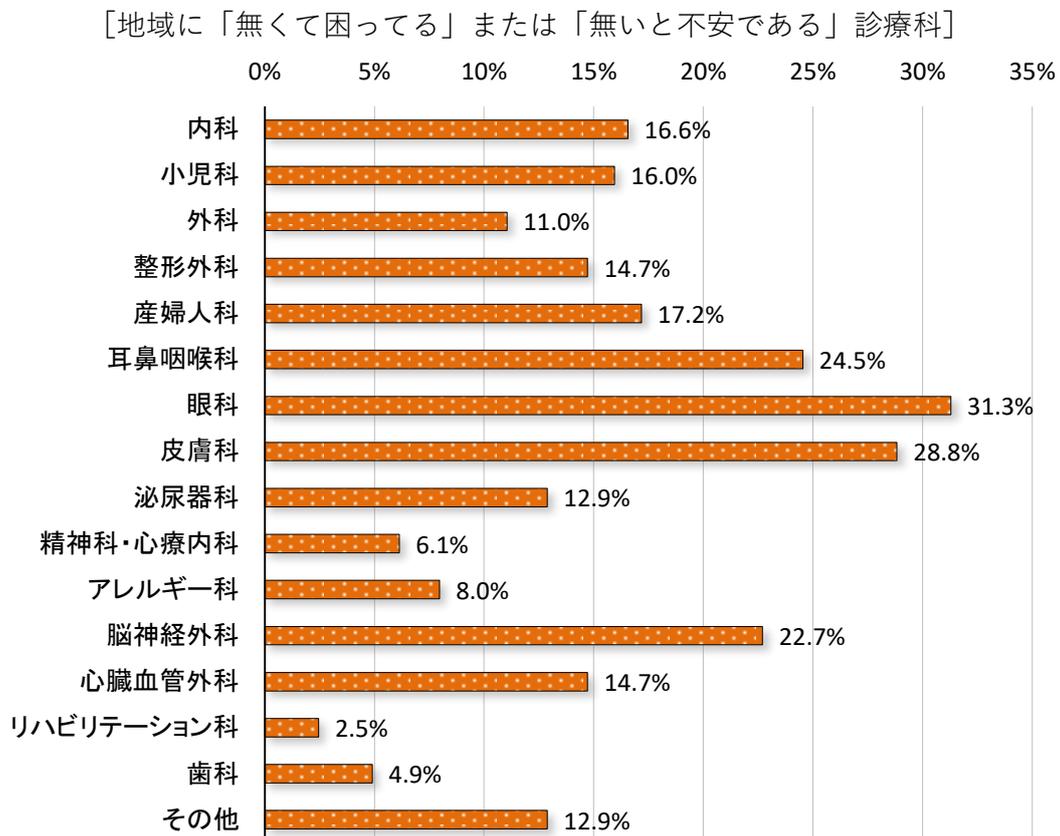
		サンプル数	分さ ん療 ある 設 の は た く	な の 医 い で 療 特 施 に 設 不 便 は あ る	く た が 医 て い 、 療 不 診 自 施 分 設 の は あ る 無	困 く 医 っ て て い 無 く て な	無 回 答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)					
全体		962 100.0%	167 17.4%	619 64.3%	127 13.2%	36 3.7%	13 1.4%
性別	男性	485 100.0%	100 20.6%	325 67.0%	46 9.5%	7 1.4%	7 1.4%
	女性	476 100.0%	67 14.1%	293 61.6%	81 17.0%	29 6.1%	6 1.3%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	11 23.9%	29 63.0%	2 4.3%	3 6.5%	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	24 18.8%	76 59.4%	21 16.4%	7 5.5%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	41 16.3%	164 65.1%	31 12.3%	12 4.8%	4 1.6%
	50歳代	265 100.0%	44 16.6%	166 62.6%	39 14.7%	11 4.2%	5 1.9%
	60歳代	209 100.0%	36 17.2%	140 67.0%	28 13.4%	3 1.4%	2 1.0%
	70歳以上	60 100.0%	10 16.7%	44 73.3%	5 8.3%	0 0.0%	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	696 100.0%	147 21.1%	470 67.5%	59 8.5%	12 1.7%	8 1.1%
	日置市	54 100.0%	1 1.9%	28 51.9%	20 37.0%	5 9.3%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	4 16.0%	15 60.0%	4 16.0%	1 4.0%	1 4.0%
	枕崎市	30 100.0%	0 0.0%	15 50.0%	9 30.0%	5 16.7%	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	6 11.5%	32 61.5%	10 19.2%	3 5.8%	1 1.9%
	南九州市	40 100.0%	1 2.5%	17 42.5%	13 32.5%	7 17.5%	2 5.0%
	南さつま市	32 100.0%	4 12.5%	19 59.4%	8 25.0%	1 3.1%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	4 12.1%	23 69.7%	4 12.1%	2 6.1%	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	80 17.9%	287 64.3%	58 13.0%	15 3.4%	6 1.3%
	1年以内に受診	423 100.0%	71 16.8%	274 64.8%	56 13.2%	17 4.0%	5 1.2%
	3年以内に受診	65 100.0%	8 12.3%	44 67.7%	8 12.3%	4 6.2%	1 1.5%
	3年以上未受診	25 100.0%	8 32.0%	12 48.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

### ③ 地域に「無くて困ってる」または「無いと不安である」診療科について

「地域に無くて困っている」または「無いと不安である」と回答した者が多かった診療科は、男女ともに「眼科」、次いで皮膚科であり、全体の3割が回答していた。

年代別では、乳幼児を育児していると考えられる30歳代の46.4%が「小児科」と回答しており、他の世代より高率であった。また、10歳代・20歳代の5人中4人(80%)が「産婦人科」と回答していた。40歳代では「眼科」が(44.2%)、50歳代では「皮膚科」と「脳神経外科」が(30%)最も高率であった。60歳以上の高齢者では、「眼科」(36.1%)、「脳神経外科」(27.8%)の順で回答者が多かった。それぞれの年代で、遭遇する可能性の高い傷病に対応する診療科が望まれていた。

居住地域別の比較では、指宿市で産婦人科(46.2%)、南九州市で眼科(65.0%)、枕崎市で脳神経外科(35.7%)が他地域に比し「地域に無くて困っている」または「無いと不安である」と回答した者が多かった。



問 14 お住まいの地域に「無くて困っている」または「無いと不安である」診療科は何ですか。(複数回答可)

		サンプル数	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	精神科・心療内科	アレルギー科	脳神経外科	心臓血管外科	リハビリテーション科	歯科	その他	
		上段:実数(人) 下段:割合(%)																	
全体		163	27 16.6%	26 16.0%	18 11.0%	24 14.7%	28 17.2%	40 24.5%	51 31.3%	47 28.8%	21 12.9%	10 6.1%	13 8.0%	37 22.7%	24 14.7%	4 2.5%	8 4.9%	21 12.9%	
性別	男性	53	9 17.0%	7 13.2%	7 13.2%	8 15.1%	5 9.4%	12 22.6%	17 32.1%	14 26.4%	10 18.9%	4 7.5%	3 5.7%	15 28.3%	9 17.0%	2 3.8%	3 5.7%	6 11.3%	
	女性	110	18 16.4%	19 17.3%	11 10.0%	16 14.5%	23 20.9%	28 25.5%	34 30.9%	33 30.0%	11 10.0%	6 5.5%	10 9.1%	22 20.0%	15 13.6%	2 1.8%	5 4.5%	15 13.6%	
年代別	10歳代・20歳代	5	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	30歳代	28	5 17.9%	13 46.4%	1 3.6%	2 7.1%	7 25.0%	6 21.4%	9 32.1%	9 32.1%	3 10.7%	2 7.1%	1 3.6%	4 14.3%	3 10.7%	0 0.0%	2 7.1%	2 7.1%	
	40歳代	43	8 18.6%	7 16.3%	7 16.3%	8 18.6%	10 23.3%	15 34.9%	19 44.2%	15 34.9%	4 9.3%	2 4.7%	3 7.0%	6 14.0%	4 9.3%	0 0.0%	1 2.3%	5 11.6%	
	50歳代	50	6 12.0%	5 10.0%	7 14.0%	6 12.0%	7 14.0%	9 18.0%	10 20.0%	15 30.0%	7 14.0%	7 14.0%	2 4.0%	4 8.0%	15 30.0%	9 18.0%	2 4.0%	2 4.0%	10 20.0%
	60歳代	31	7 22.6%	0 0.0%	3 9.7%	8 25.8%	0 0.0%	8 25.8%	9 29.0%	4 12.9%	6 19.4%	3 9.7%	3 9.7%	9 29.0%	6 19.4%	2 6.5%	2 6.5%	4 12.9%	
	70歳以上	5	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	71	18 25.4%	6 8.5%	10 14.1%	9 12.7%	10 14.1%	24 33.8%	25 35.2%	22 31.0%	6 8.5%	3 4.2%	2 2.8%	14 19.7%	12 16.9%	2 2.8%	6 8.5%	9 12.7%	
	日置市	25	4 16.0%	4 16.0%	1 4.0%	4 16.0%	1 4.0%	7 28.0%	8 32.0%	8 32.0%	7 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.0%	5 20.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	3 12.0%
	いちき串木野市	5	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	
	枕崎市	14	2 14.3%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	4 28.6%	2 14.3%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	5 35.7%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	
	指宿市	13	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	5 38.5%	2 15.4%	3 23.1%	3 23.1%	4 30.8%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%
	南九州市	20	3 15.0%	5 25.0%	4 20.0%	3 15.0%	6 30.0%	2 10.0%	13 65.0%	7 35.0%	5 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	5 25.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%
	南さつま市	9	0 0.0%	5 55.6%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
	その他	6	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
医療機関の受診状況	定期的に通院	73	10 13.7%	10 13.7%	8 11.0%	16 21.9%	9 12.3%	16 21.9%	19 26.0%	19 26.0%	12 16.4%	6 8.2%	6 8.2%	16 21.9%	11 15.1%	2 2.7%	3 4.1%	12 16.4%	
	1年以内に受診	73	15 20.5%	14 19.2%	8 11.0%	8 11.0%	16 21.9%	21 28.8%	27 37.0%	27 37.0%	24 32.9%	8 11.0%	3 4.1%	6 8.2%	15 20.5%	11 15.1%	2 2.7%	5 6.8%	7 9.6%
	3年以内に受診	12	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	1 8.3%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	3年以上未受診	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## (5) 地域医療構想について

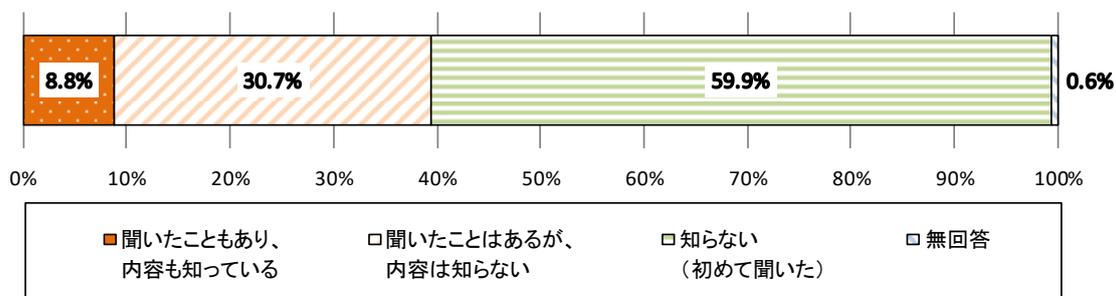
### ① 地域医療構想についての認知度

「鹿児島県が策定した地域医療構想について知っているか」という質問に対し、約6割が「知らない（初めて聞いた）」と回答しており、過半数の回答者が地域医療構想について全く知識がないことが明らかになった。

年代別では、年代が上がるにつれて「聞いたこともあり内容も知っている」と回答する者が増加し、「知らない（初めて聞いた）」と回答する者が減少した。

居住地の違いによる差は認められなかった。

[地域医療構想についての認知度]



問 15 あなたは、鹿児島県が策定した地域医療構想をご存知ですか。

		サンプル数	てり聞 いる、 いた 内容 も知 つあ	らる聞 ない、 いた 内容 は知 あ	て知 聞ら いた ない (初 め)	無 回 答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)				
全体		962 100.0%	85 8.8%	295 30.7%	576 <b>59.9%</b>	6 0.6%
性別	男性	485 100.0%	58 12.0%	156 32.2%	267 <b>55.1%</b>	4 0.8%
	女性	476 100.0%	27 5.7%	139 29.2%	308 <b>64.7%</b>	2 0.4%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	1 2.2%	3 6.5%	42 <b>91.3%</b>	0 0.0%
	30歳代	128 100.0%	7 5.5%	20 15.6%	100 <b>78.1%</b>	1 0.8%
	40歳代	252 100.0%	23 9.1%	70 27.8%	158 <b>62.7%</b>	1 0.4%
	50歳代	265 100.0%	20 7.5%	97 36.6%	146 <b>55.1%</b>	2 0.8%
	60歳代	209 100.0%	24 11.5%	78 37.3%	106 <b>50.7%</b>	1 0.5%
	70歳以上	60 100.0%	10 16.7%	26 <b>43.3%</b>	23 38.3%	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	696 100.0%	64 9.2%	203 29.2%	424 <b>60.9%</b>	5 0.7%
	日置市	54 100.0%	4 7.4%	21 38.9%	29 <b>53.7%</b>	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	1 4.0%	9 36.0%	15 <b>60.0%</b>	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	2 6.7%	11 36.7%	16 <b>53.3%</b>	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	6 11.5%	14 26.9%	32 <b>61.5%</b>	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	2 5.0%	16 40.0%	22 <b>55.0%</b>	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	3 9.4%	12 37.5%	17 <b>53.1%</b>	0 0.0%
	その他	33 100.0%	3 9.1%	9 27.3%	21 <b>63.6%</b>	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	41 9.2%	156 35.0%	245 <b>54.9%</b>	4 0.9%
	1年以内に受診	423 100.0%	36 8.5%	115 27.2%	270 <b>63.8%</b>	2 0.5%
	3年以内に受診	65 100.0%	5 7.7%	18 27.7%	42 <b>64.6%</b>	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	2 8.0%	6 24.0%	17 <b>68.0%</b>	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
かかりつけ医	いる	494 100.0%	55 11.1%	178 36.0%	256 <b>51.8%</b>	5 1.0%
	いないが いると よと思う	219 100.0%	8 3.7%	59 26.9%	152 <b>69.4%</b>	0 0.0%
	いない	228 100.0%	22 9.6%	52 22.8%	153 <b>67.1%</b>	1 0.4%
	わからない	20 100.0%	0 0.0%	5 25.0%	15 <b>75.0%</b>	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

## ② 地域医療構想の背景にある課題についての認知度

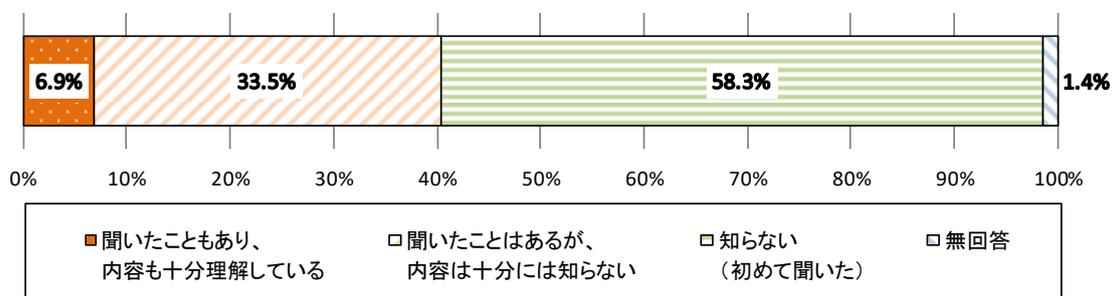
地域医療構想の背景にある課題についての認知度も、「知らない（初めて聞いた）」と回答する者が全体の6割を占めていた。ただし、「地域医療構想」自体を知らなくても、その背景については6人が「聞いたこともあり、内容も十分理解している」、47人が「聞いたことはあるが、内容は十分には知らない」と答えていた。また、地域医療構想を認知し、理解していると回答した85人中31人(36.5%)が、地域医療構想の背景にある課題について「聞いたことはあるが、内容は十分には知らない」または「知らない(初めて聞いた)」と回答していた。

年代別では、年代が上がるにつれて「聞いたこともあり内容も知っている」「聞いたことはあるが、内容は十分には知らない」と回答する者が増加し、「知らない（初めて聞いた）」と回答する者が減少した。

居住地域別では、いちき串木野市で「知らない（聞いたことがない）」と答えた者の割合が他地域に比べて低かった（44.0%）。

受診状況別では、受診頻度が高いほど「知らない（聞いたことがない）」と答えた者の割合が低下していた。

[地域医療構想の背景にある課題についての認知度]



問 16 「地域医療構想」の背景にある課題について、あなたをご存知ですか。

		サ ン プ ル 数	理 解 、 聞 いた 内 容 も 十 分 あ る	分 る 間 に は 、 た ら し な い 十 分 あ る	て 知 ら な い （ 初 め ）	無 回 答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)				
全体		962 100.0%	66 6.9%	322 33.5%	561 58.3%	13 1.4%
性別	男性	485 100.0%	47 9.7%	165 34.0%	268 55.3%	5 1.0%
	女性	476 100.0%	19 4.0%	157 33.0%	292 61.3%	8 1.7%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	3 6.5%	6 13.0%	37 80.4%	0 0.0%
	30歳代	128 100.0%	6 4.7%	25 19.5%	95 74.2%	2 1.6%
	40歳代	252 100.0%	17 6.7%	86 34.1%	148 58.7%	1 0.4%
	50歳代	265 100.0%	13 4.9%	99 37.4%	149 56.2%	4 1.5%
	60歳代	209 100.0%	19 9.1%	80 38.3%	107 51.2%	3 1.4%
	70歳以上	60 100.0%	8 13.3%	25 41.7%	24 40.0%	3 5.0%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	45 6.5%	233 33.5%	408 58.6%	10 1.4%
	日置市	54 100.0%	4 7.4%	17 31.5%	33 61.1%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	2 8.0%	12 48.0%	11 44.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	2 6.7%	11 36.7%	15 50.0%	2 6.7%
	指宿市	52 100.0%	6 11.5%	14 26.9%	32 61.5%	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	3 7.5%	15 37.5%	22 55.0%	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	2 6.3%	11 34.4%	18 56.3%	1 3.1%
	その他	33 100.0%	2 6.1%	9 27.3%	22 66.7%	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	31 7.0%	162 36.3%	244 54.7%	9 2.0%
	1年以内に受診	423 100.0%	29 6.9%	133 31.4%	257 60.8%	4 0.9%
	3年以内に受診	65 100.0%	4 6.2%	20 30.8%	41 63.1%	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	1 4.0%	7 28.0%	17 68.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
地域医療構想の認知度	聞いたこともあり、内容も知っている	85 100.0%	53 62.4%	28 32.9%	3 3.5%	1 1.2%
	聞いたことはあるが、内容は知らない	295 100.0%	7 2.4%	246 83.4%	38 12.9%	4 1.4%
	知らない（初めて聞いた）	576 100.0%	6 1.0%	47 8.2%	520 90.3%	3 0.5%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

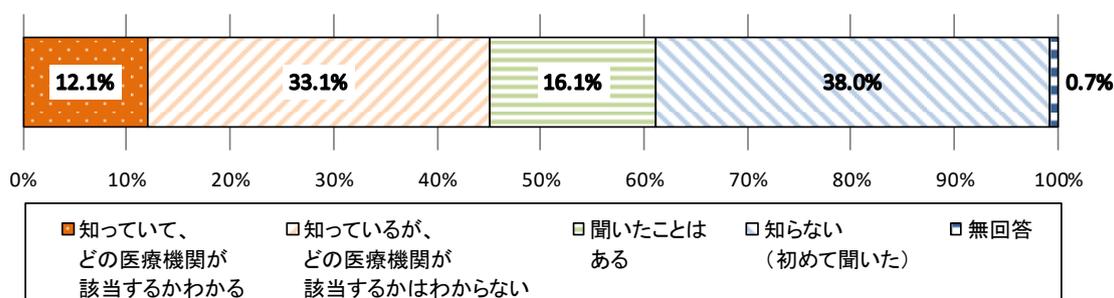
### ③ 医療機関の種類（一次～三次）とそれぞれの役割に関する認知度

医療機関の種類および役割に関する認知度については、「知っている、どの医療機関が該当するかわかる」と答えたのは全体の12.1%に過ぎなかった。

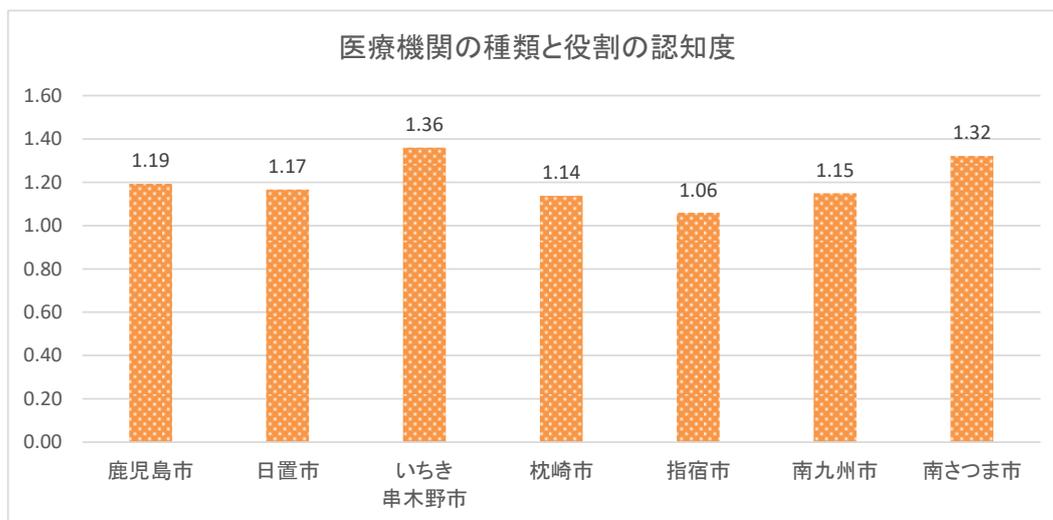
年代別では、年代が上がるにつれて「知らない（初めて聞いた）」と回答する割合が低下した。

地域別では、「知らない」と答えた者の割合が指宿市で最も高かった（50%）。「知っているがどの医療機関が該当するかわからない」「知っているがどの医療機関が該当するかはわからない」または「聞いたことはある」と、何らかの形で「知っている」と答えた者の割合は、南さつま市で最も高かった（68.8%）。

[医療機関の種類（一次～三次）とそれぞれの役割に関する認知度]



「知っているがどの医療機関が該当するかわからない」を3点、「知っているがどの医療機関が該当するかはわからない」を2点、「聞いたことはある」を1点、「知らない」を0点として認知度を数値化した場合、いちき串木野市が最も高く（1.36点）、指宿市が最も低かった（1.06点）



※鹿児島市の算出例：(80\*3+235\*2+116\*1+261\*0) /696-4 ≒ 1.19

問 17 医療機関には

○軽いけがや風邪等の入院や手術を伴わない継承に対応する医療機関(一次)

○胃潰瘍など入院や手術を伴う重症に対応する医療機関(二次)

○交通事故による多発外傷など生命の危機に係る症状に対応する医療機関(三次)

とそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか。

		サンプル数	当の知 す医つ る療て か機い わ関て かが、 る該ど	か該ど ら当の なす医 いる療 か機い は関が わが、	る聞 いた こと はあ	て知 聞ら ない たい (初 め)	無 回 答
上段:実数(人) 下段:割合(%)							
全体		962 100.0%	116 12.1%	318 33.1%	155 16.1%	366 <b>38.0%</b>	7 0.7%
性別	男性	485 100.0%	68 14.0%	162 33.4%	84 17.3%	168 <b>34.6%</b>	3 0.6%
	女性	476 100.0%	48 10.1%	155 32.6%	71 14.9%	198 <b>41.6%</b>	4 0.8%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	4 8.7%	16 34.8%	4 8.7%	22 <b>47.8%</b>	0 0.0%
	30歳代	128 100.0%	16 12.5%	33 25.8%	18 14.1%	60 <b>46.9%</b>	1 0.8%
	40歳代	252 100.0%	17 6.7%	95 37.7%	35 13.9%	104 <b>41.3%</b>	1 0.4%
	50歳代	265 100.0%	33 12.5%	82 30.9%	54 20.4%	93 <b>35.1%</b>	3 1.1%
	60歳代	209 100.0%	27 12.9%	70 33.5%	37 17.7%	74 <b>35.4%</b>	1 0.5%
	70歳以上	60 100.0%	18 30.0%	21 <b>35.0%</b>	7 11.7%	13 21.7%	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	80 11.5%	235 33.8%	116 16.7%	261 <b>37.5%</b>	4 0.6%
	日置市	54 100.0%	7 13.0%	18 33.3%	6 11.1%	23 <b>42.6%</b>	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	4 16.0%	8 <b>32.0%</b>	6 24.0%	7 28.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	3 10.0%	9 30.0%	6 20.0%	11 <b>36.7%</b>	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	7 13.5%	15 28.8%	3 5.8%	26 <b>50.0%</b>	1 1.9%
	南九州市	40 100.0%	4 10.0%	13 32.5%	8 20.0%	15 <b>37.5%</b>	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	5 15.6%	9 <b>28.1%</b>	8 25.0%	9 <b>28.1%</b>	1 3.1%
	その他	33 100.0%	6 18.2%	11 33.3%	2 6.1%	14 <b>42.4%</b>	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	61 13.7%	159 <b>35.7%</b>	63 14.1%	158 35.4%	5 1.1%
	1年以内に受診	423 100.0%	45 10.6%	134 31.7%	71 16.8%	171 <b>40.4%</b>	2 0.5%
	3年以内に受診	65 100.0%	7 10.8%	19 29.2%	12 18.5%	27 <b>41.5%</b>	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	3 12.0%	4 16.0%	9 <b>36.0%</b>	9 <b>36.0%</b>	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

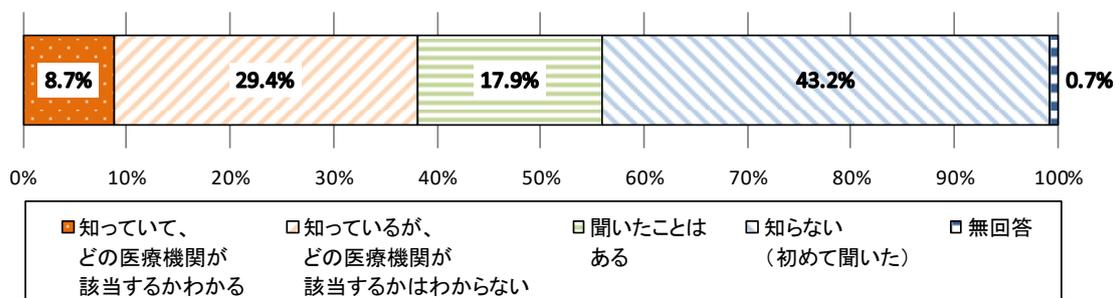
#### ④ 「地域医療構想」における医療機関の機能についての認知度

「地域医療構想」における各医療機関の機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の認知度については、半数近くの43.2%が「知らない、(初めて聞いた)」と回答していた。

年代別では、年代が上がるにつれて「知らない(初めて聞いた)」と回答する者の割合が低くなる傾向がみられる。また、70歳以上の高齢者では、「知っている、どの医療機関が該当するかわかる」と答えた者の割合が他世代に比較して高率であった(21.7%)。

地域別では、枕崎市で「知らない(初めて聞いた)」と回答した者の割合が最も高かった(50%)。

[[「地域医療構想」における医療機関の機能についての認知度]



問 18 「地域医療構想」では、将来必要な医療について、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4機能に分け、各病院の役割を見えやすくし、役割に沿った医師や設備の配置を行うという考えに基づいています。それぞれの病院ごとに役割が違うことを知っていますか。

		サンプル数	当の知 す医 療 機 関 が わ か る か	知 つ て い て 、 ど の 機 関 が わ か る か	ど の 機 関 が わ か る か	聞 いた こ と は あ り ま す か	知 ら ない こ と は あ り ま す か （ 初 め ）	無 回 答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)						
全体		962 100.0%	84 8.7%	283 29.4%	172 17.9%	416 <b>43.2%</b>	7 0.7%	
性別	男性	485 100.0%	48 9.9%	155 32.0%	79 16.3%	199 <b>41.0%</b>	4 0.8%	
	女性	476 100.0%	36 7.6%	128 26.9%	93 19.5%	216 <b>45.4%</b>	3 0.6%	
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	4 8.7%	8 17.4%	5 10.9%	29 <b>63.0%</b>	0 0.0%	
	30歳代	128 100.0%	11 8.6%	22 17.2%	20 15.6%	74 <b>57.8%</b>	1 0.8%	
	40歳代	252 100.0%	10 4.0%	88 34.9%	42 16.7%	111 <b>44.0%</b>	1 0.4%	
	50歳代	265 100.0%	24 9.1%	88 33.2%	49 18.5%	102 <b>38.5%</b>	2 0.8%	
	60歳代	209 100.0%	22 10.5%	55 26.3%	44 21.1%	86 <b>41.1%</b>	2 1.0%	
	70歳以上	60 100.0%	13 21.7%	22 <b>36.7%</b>	11 18.3%	13 21.7%	1 1.7%	
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	
居住地域	鹿児島市	696 100.0%	61 8.8%	201 28.9%	132 19.0%	299 <b>43.0%</b>	3 0.4%	
	日置市	54 100.0%	4 7.4%	18 33.3%	8 14.8%	24 <b>44.4%</b>	0 0.0%	
	いちき串木野市	25 100.0%	2 8.0%	8 32.0%	4 16.0%	10 <b>40.0%</b>	1 4.0%	
	枕崎市	30 100.0%	2 6.7%	6 20.0%	6 20.0%	15 <b>50.0%</b>	1 3.3%	
	指宿市	52 100.0%	4 7.7%	19 36.5%	3 5.8%	25 <b>48.1%</b>	1 1.9%	
	南九州市	40 100.0%	4 10.0%	11 27.5%	7 17.5%	17 <b>42.5%</b>	1 2.5%	
	南さつま市	32 100.0%	3 9.4%	12 <b>37.5%</b>	7 21.9%	10 31.3%	0 0.0%	
	その他	33 100.0%	4 12.1%	8 24.2%	5 15.2%	16 <b>48.5%</b>	0 0.0%	
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	47 10.5%	138 30.9%	82 18.4%	175 <b>39.2%</b>	4 0.9%	
	1年以内に受診	423 100.0%	33 7.8%	115 27.2%	71 16.8%	201 <b>47.5%</b>	3 0.7%	
	3年以内に受診	65 100.0%	2 3.1%	21 32.3%	12 18.5%	30 <b>46.2%</b>	0 0.0%	
	3年以上未受診	25 100.0%	2 8.0%	7 28.0%	7 28.0%	9 <b>36.0%</b>	0 0.0%	
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	

## (6) 地域医療に対するニーズ

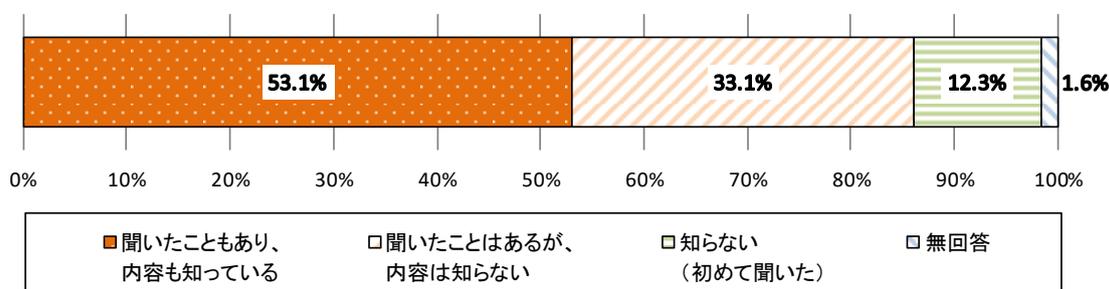
### ① 受診の仕組みの認知度

病気になった場合、まずかかりつけ医を受診し、専門的な検査等が必要な時に紹介状を持って急性期病院を受診するという仕組みについて、「聞いたこともあり、内容も知っている」と答えた者の割合は全体の53.1%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は全体の33.1%であり、全体の9割近くが本仕組みを「聞いたことがある」ことが明らかになった。

年代別では、「聞いたこともあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた者の割合の合計は、年代が上がるにつれて増加する傾向がみられる。興味深いことに、「聞いたこともあり、内容も知っている」と答えた者の割合は、10歳代・20歳代の若年者群と70歳以上の高齢者群で高率であり、50歳代で最も低く、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別では、「知らない(初めて聞いた)」と答えた者の割合が、日置市で最も高く(18.5%)、南さつま市で最も低かった(9.4%)。南さつま市では、「聞いたこともあり、内容も知っている」と答えた者の割合が最も高かった(56.3%)。「聞いたこともあり、内容も知っている」と答えた者の割合が最も低かったのは、枕崎市であった(33.3%)。

[受診の仕組みの認知度]

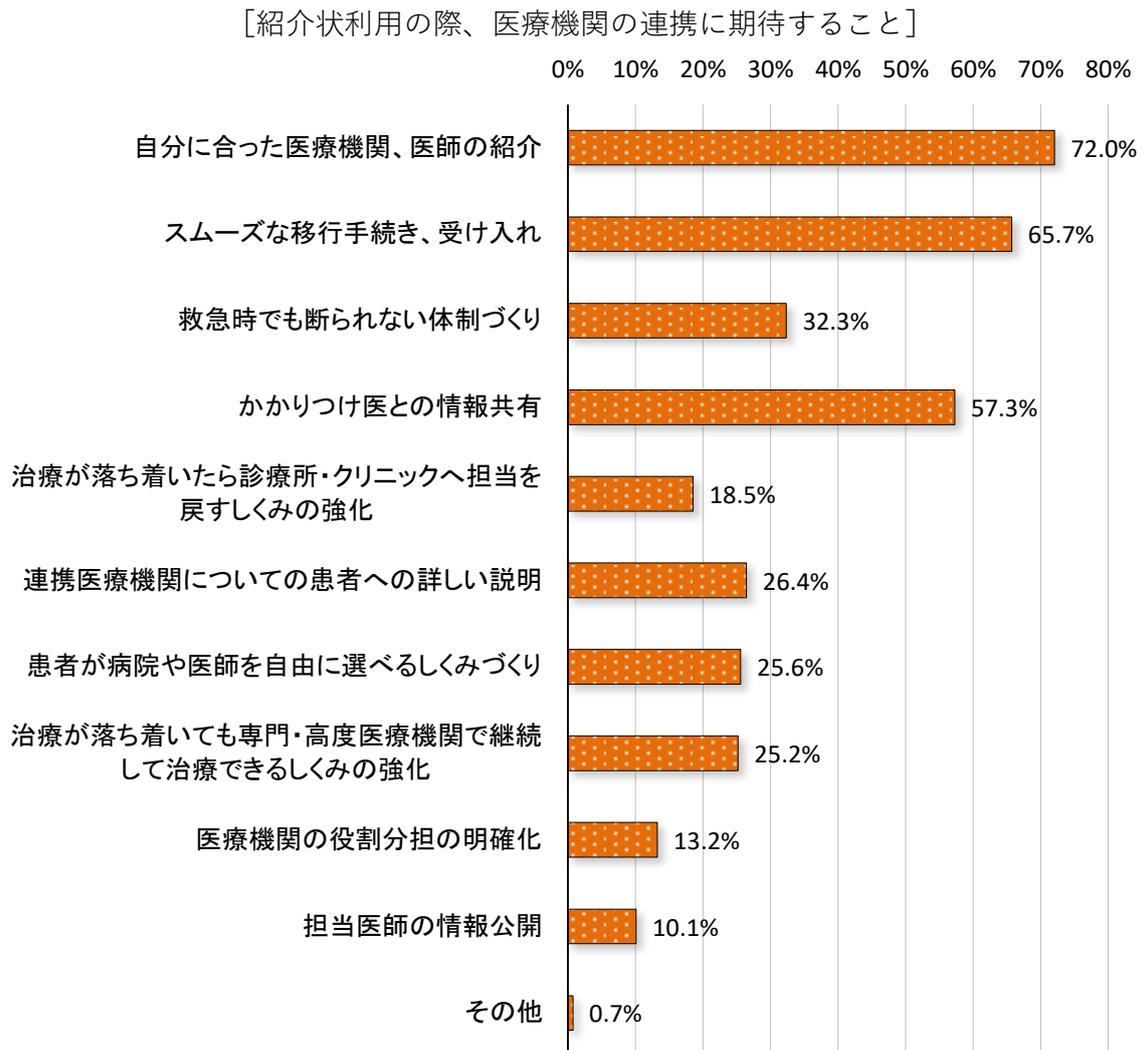


問 19 あなたのお住まいの地域の急性期病院では、病気の初期は地域の診療所等（かかりつけ医）を受診し、専門的な検査や治療が必要なときに紹介状を持って受診するという仕組みとなっています。あなたは、この仕組みについてしていますか。

		サンプル数	てり聞 い、い る内た 容こ も知 もっ あ	らる聞 ながい ない、 た内 容と はは 知あ	て知 聞ら ない たい （ 初 め	無 回 答
上段:実数(人) 下段:割合(%)						
全体		962 100.0%	511 53.1%	318 33.1%	118 12.3%	15 1.6%
性別	男性	485 100.0%	243 50.1%	166 34.2%	69 14.2%	7 1.4%
	女性	476 100.0%	267 56.1%	152 31.9%	49 10.3%	8 1.7%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	29 63.0%	9 19.6%	7 15.2%	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	68 53.1%	33 25.8%	26 20.3%	1 0.8%
	40歳代	252 100.0%	128 50.8%	81 32.1%	38 15.1%	5 2.0%
	50歳代	265 100.0%	131 49.4%	105 39.6%	26 9.8%	3 1.1%
	60歳代	209 100.0%	113 54.1%	73 34.9%	19 9.1%	4 1.9%
	70歳以上	60 100.0%	42 70.0%	16 26.7%	1 1.7%	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	386 55.5%	222 31.9%	78 11.2%	10 1.4%
	日置市	54 100.0%	26 48.1%	17 31.5%	10 18.5%	1 1.9%
	いちき串木野市	25 100.0%	12 48.0%	10 40.0%	3 12.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	10 33.3%	14 46.7%	5 16.7%	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	24 46.2%	17 32.7%	9 17.3%	2 3.8%
	南九州市	40 100.0%	17 42.5%	18 45.0%	4 10.0%	1 2.5%
	南さつま市	32 100.0%	18 56.3%	11 34.4%	3 9.4%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	18 54.5%	9 27.3%	6 18.2%	0 0.0%
医療 機 関 の 受 診 状 況	定期的に通院	446 100.0%	255 57.2%	140 31.4%	44 9.9%	7 1.6%
	1年以内に受診	423 100.0%	210 49.6%	146 34.5%	60 14.2%	7 1.7%
	3年以内に受診	65 100.0%	31 47.7%	21 32.3%	12 18.5%	1 1.5%
	3年以上未受診	25 100.0%	12 48.0%	11 44.0%	2 8.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## ② 紹介状利用の際、医療機関の連携に期待すること

紹介状利用の際、医療機関の連携に期待することとしては、「自分に合った医療機関、医師の紹介」と回答した者の割合が最も高く（72.0%）、次いで「スムーズな移行手続き、受け入れ」（65.7%）「かかりつけ医との情報共有」（57.3%）の順で高率であった。



問 20 紹介状を利用する際、医療機関の連携に期待することは何ですか。(複数回答可)

		サンプル数	の紹介 自分に合った医療機関、医師	スムーズな移行手続き、受け	く救急時でも断られない体制づ	かかりつけ医との情報共有	みク治療が落ち着いたら診療所・み強化	へ連携医療機関についての患者への詳しい説明	患者が病院や医師を自由に選べるしくみづくり	き度医療機関で継続して治療・高	医療機関の役割分担の明確化	担当医師の情報公開	その他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)											
全体		962	693 72.0%	632 65.7%	311 32.3%	551 57.3%	178 18.5%	254 26.4%	246 25.6%	242 25.2%	127 13.2%	97 10.1%	7 0.7%
性別	男性	485	340 70.1%	310 63.9%	164 33.8%	278 57.3%	89 18.4%	122 25.2%	117 24.1%	116 23.9%	72 14.8%	53 10.9%	6 1.2%
	女性	476	352 73.9%	321 67.4%	147 30.9%	273 57.4%	89 18.7%	132 27.7%	129 27.1%	126 26.5%	54 11.3%	44 9.2%	1 0.2%
	無回答	1	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46	36 78.3%	36 78.3%	14 30.4%	27 58.7%	8 17.4%	11 23.9%	7 15.2%	9 19.6%	7 15.2%	5 10.9%	0 0.0%
	30歳代	128	97 75.8%	97 75.8%	38 29.7%	75 58.6%	25 19.5%	34 26.6%	28 21.9%	29 22.7%	18 14.1%	13 10.2%	0 0.0%
	40歳代	252	169 67.1%	168 66.7%	74 29.4%	153 60.7%	46 18.3%	63 25.0%	65 25.8%	56 22.2%	33 13.1%	28 11.1%	2 0.8%
	50歳代	265	193 72.8%	180 67.9%	92 34.7%	147 55.5%	45 17.0%	78 29.4%	74 27.9%	69 26.0%	36 13.6%	25 9.4%	4 1.5%
	60歳代	209	150 71.8%	120 57.4%	69 33.0%	117 56.0%	39 18.7%	57 27.3%	55 26.3%	62 29.7%	27 12.9%	22 10.5%	1 0.5%
	70歳以上	60	47 78.3%	29 48.3%	24 40.0%	31 51.7%	15 25.0%	11 18.3%	15 25.0%	17 28.3%	6 10.0%	4 6.7%	0 0.0%
	無回答	2	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	696	502 72.1%	464 66.7%	210 30.2%	400 57.5%	117 16.8%	176 25.3%	176 25.3%	181 26.0%	91 13.1%	58 8.3%	5 0.7%
	日置市	54	42 77.8%	37 68.5%	18 33.3%	33 61.1%	13 24.1%	21 38.9%	17 31.5%	13 24.1%	9 16.7%	8 14.8%	0 0.0%
	いちき串木野市	25	17 68.0%	20 80.0%	13 52.0%	15 60.0%	9 36.0%	8 32.0%	8 32.0%	6 24.0%	5 20.0%	5 20.0%	1 4.0%
	枕崎市	30	23 76.7%	19 63.3%	10 33.3%	15 50.0%	6 20.0%	7 23.3%	8 26.7%	6 20.0%	6 20.0%	3 10.0%	0 0.0%
	指宿市	52	35 67.3%	34 65.4%	19 36.5%	35 67.3%	11 21.2%	11 21.2%	16 30.8%	13 25.0%	4 7.7%	10 19.2%	0 0.0%
	南九州市	40	26 65.0%	23 57.5%	16 40.0%	19 47.5%	9 22.5%	12 30.0%	11 27.5%	9 22.5%	8 20.0%	7 17.5%	0 0.0%
	南さつま市	32	25 78.1%	21 65.6%	14 43.8%	14 43.8%	7 21.9%	9 28.1%	5 15.6%	7 21.9%	2 6.3%	4 12.5%	0 0.0%
	その他	33	23 69.7%	14 42.4%	11 33.3%	20 60.6%	6 18.2%	10 30.3%	5 15.2%	7 21.2%	2 6.1%	2 6.1%	1 3.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446	330 74.0%	281 63.0%	149 33.4%	268 60.1%	99 22.2%	138 30.9%	113 25.3%	126 28.3%	65 14.6%	49 11.0%	3 0.7%
	1年以内に受診	423	304 71.9%	290 68.6%	133 31.4%	247 58.4%	60 14.2%	100 23.6%	106 25.1%	98 23.2%	55 13.0%	41 9.7%	3 0.7%
	3年以内に受診	65	39 60.0%	43 66.2%	22 33.8%	30 46.2%	13 20.0%	11 16.9%	17 26.2%	13 20.0%	6 9.2%	5 7.7%	1 1.5%
	3年以上未受診	25	18 72.0%	15 60.0%	7 28.0%	5 20.0%	5 20.0%	5 20.0%	9 36.0%	5 20.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%
	無回答	3	2 66.7%	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%

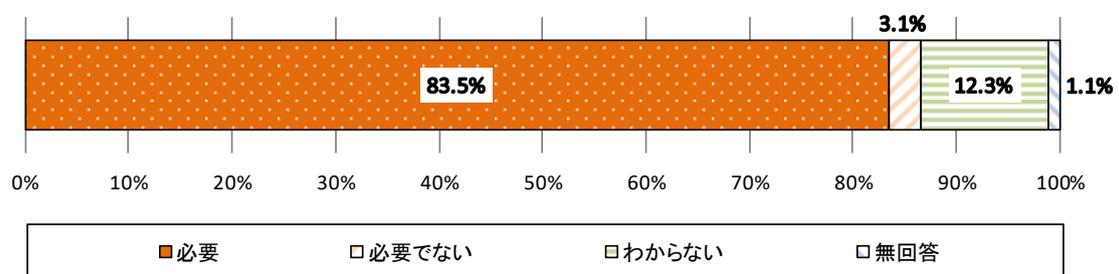
### ③ 在宅医療の必要性について

在宅医療の必要性については、全体の83.5%が「必要」と回答していた。男女別では、男性の方が「必要」と回答している割合が高かった（男性86.0%、女性80.9%）。

年代別では、親の介護を担い始めると考えられる年代（40歳代）で「必要」と回答する割合が最も低く（79.8%）、介護される世代になるにつれて「必要」と回答する割合が増加していた。

地域別では、いちき串木野市で「必要」と回答する割合が高率で（96.0%）、南九州市と南さつま市において「必要でない」と回答する割合が高率であった（それぞれ7.5%、6.3%）。

[在宅医療の必要性について]



問 21 在宅医療等の推進について、必要だと思いますか。

		サンプル数	必要	必要でない	わからない	無回答
上段:実数(人) 下段:割合(%)						
全体		962 100.0%	803 <b>83.5%</b>	30 3.1%	118 12.3%	11 1.1%
性別	男性	485 100.0%	417 <b>86.0%</b>	16 3.3%	47 9.7%	5 1.0%
	女性	476 100.0%	385 <b>80.9%</b>	14 2.9%	71 14.9%	6 1.3%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	40 <b>87.0%</b>	0 0.0%	5 10.9%	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	108 <b>84.4%</b>	3 2.3%	17 13.3%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	201 <b>79.8%</b>	6 2.4%	39 15.5%	6 2.4%
	50歳代	265 100.0%	220 <b>83.0%</b>	12 4.5%	32 12.1%	1 0.4%
	60歳代	209 100.0%	180 <b>86.1%</b>	7 3.3%	19 9.1%	3 1.4%
	70歳以上	60 100.0%	52 <b>86.7%</b>	2 3.3%	6 10.0%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	580 <b>83.3%</b>	23 3.3%	86 12.4%	7 1.0%
	日置市	54 100.0%	43 <b>79.6%</b>	1 1.9%	10 18.5%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	24 <b>96.0%</b>	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	23 <b>76.7%</b>	0 0.0%	6 20.0%	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	46 <b>88.5%</b>	1 1.9%	5 9.6%	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	32 <b>80.0%</b>	3 7.5%	4 10.0%	1 2.5%
	南さつま市	32 100.0%	26 <b>81.3%</b>	2 6.3%	3 9.4%	1 3.1%
	その他	33 100.0%	29 87.9%	0 0.0%	3 9.1%	1 3.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	370 <b>83.0%</b>	12 2.7%	60 13.5%	4 0.9%
	1年以内に受診	423 100.0%	358 <b>84.6%</b>	15 3.5%	44 10.4%	6 1.4%
	3年以内に受診	65 100.0%	52 <b>80.0%</b>	1 1.5%	11 16.9%	1 1.5%
	3年以上未受診	25 100.0%	20 <b>80.0%</b>	2 8.0%	3 12.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

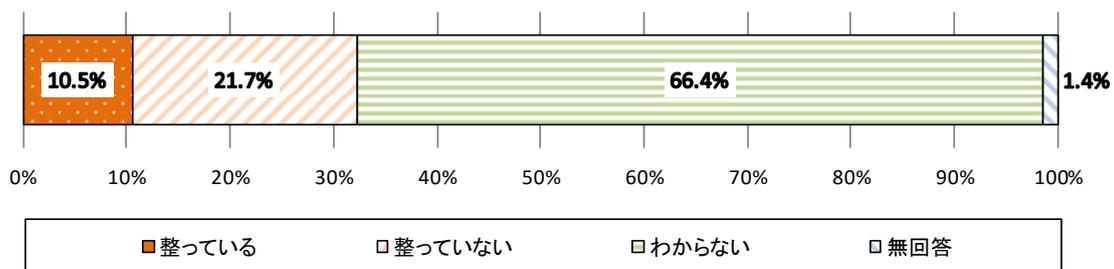
#### ④ 在宅医療等支援体制の整備状況

在宅医療等支援体制の整備状況については、「整っている」が10.5%、「整っていない」が21.7%、「わからない」が66.4%であり、過半数の人が在宅医療支援体制等について知らないという結果が得られた。

年代別では、年代が上がるにつれて「整っている」と回答する割合が増加し、「わからない」と回答する割合が低下する傾向がみられた。

居住地域別では、鹿児島市（11.4%）と日置市（11.1%）において「整っている」と回答する割合が高く、南九州市（35.0%）、南さつま市（31.3%）および指宿市（28.8%）で、「整っていない」と回答した割合が高かった。また、「わからない」と回答した割合は、鹿児島市（67.4%）と枕崎市（66.7%）とで高かった。

[在宅医療等支援体制の整備状況]



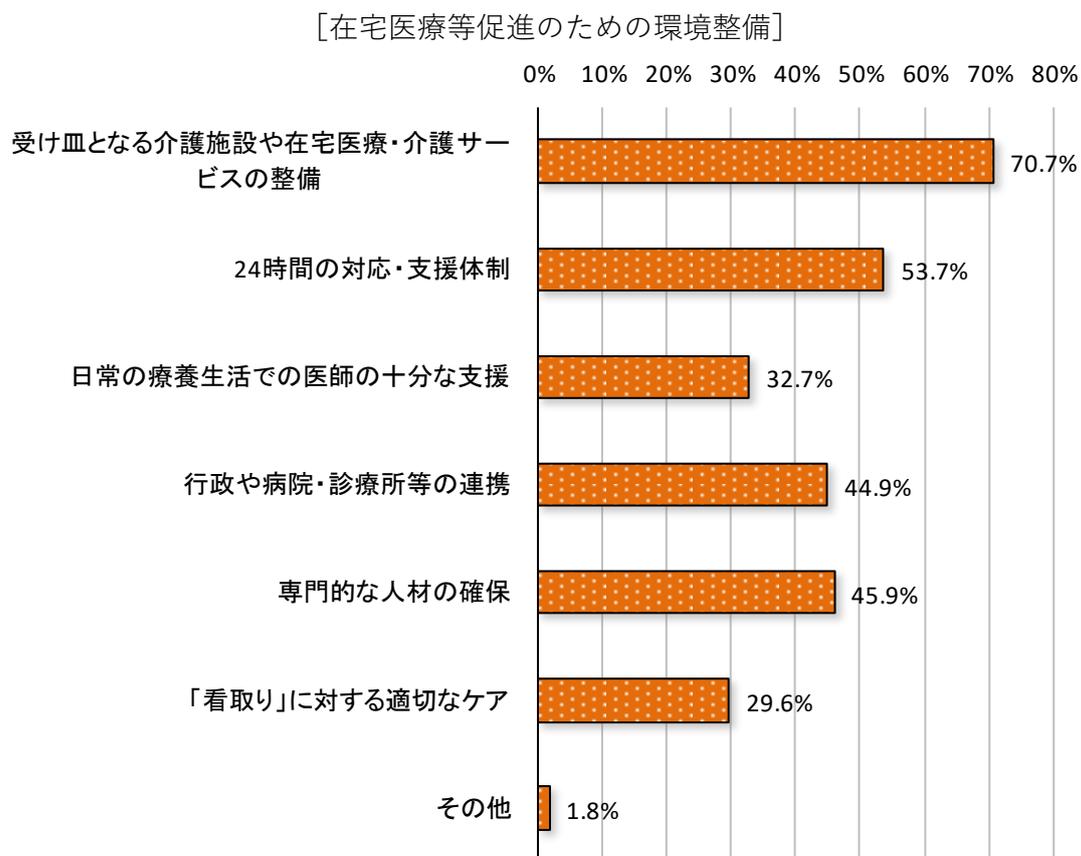
問 22 現在、お住まいの地域では在宅医療等を支援するための体制が整っていると思いますか。

		サンプル数	整っている	整っていない	わからない	無回答
上段:実数(人) 下段:割合(%)						
全体		962 100.0%	101 10.5%	209 21.7%	639 <b>66.4%</b>	13 1.4%
性別	男性	485 100.0%	46 9.5%	122 25.2%	311 <b>64.1%</b>	6 1.2%
	女性	476 100.0%	55 11.6%	87 18.3%	327 <b>68.7%</b>	7 1.5%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	3 6.5%	11 23.9%	31 <b>67.4%</b>	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	9 7.0%	26 20.3%	93 <b>72.7%</b>	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	24 9.5%	39 15.5%	184 <b>73.0%</b>	5 2.0%
	50歳代	265 100.0%	26 9.8%	56 21.1%	182 <b>68.7%</b>	1 0.4%
	60歳代	209 100.0%	32 15.3%	60 28.7%	112 <b>53.6%</b>	5 2.4%
	70歳以上	60 100.0%	6 10.0%	17 28.3%	36 <b>60.0%</b>	1 1.7%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	79 11.4%	138 19.8%	469 <b>67.4%</b>	10 1.4%
	日置市	54 100.0%	6 11.1%	14 25.9%	34 <b>63.0%</b>	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	2 8.0%	7 28.0%	16 <b>64.0%</b>	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	2 6.7%	7 23.3%	20 <b>66.7%</b>	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	3 5.8%	15 28.8%	34 <b>65.4%</b>	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	4 10.0%	14 35.0%	21 <b>52.5%</b>	1 2.5%
	南さつま市	32 100.0%	3 9.4%	10 31.3%	18 <b>56.3%</b>	1 3.1%
	その他	33 100.0%	2 6.1%	4 12.1%	27 <b>81.8%</b>	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446 100.0%	53 11.9%	110 24.7%	277 <b>62.1%</b>	6 1.3%
	1年以内に受診	423 100.0%	41 9.7%	80 18.9%	296 <b>70.0%</b>	6 1.4%
	3年以内に受診	65 100.0%	6 9.2%	13 20.0%	45 <b>69.2%</b>	1 1.5%
	3年以上未受診	25 100.0%	1 4.0%	5 20.0%	19 <b>76.0%</b>	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

## ⑤ 在宅医療等促進のための環境整備

在宅医療等促進のために必要と考える環境整備については、「受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備」が70.7%と最も高率で、次いで24時間の対応・支援体制（53.7%）、専門的な人材の確保（45.9%）、行政や病院・診療所等の連携（44.9%）であった。

その他の意見として、「介護サービス職員の給与水準の引き上げ」「独身者や共働きの夫婦が増えていると思うので、安心して不在にできる環境づくり」といった意見もみられた。



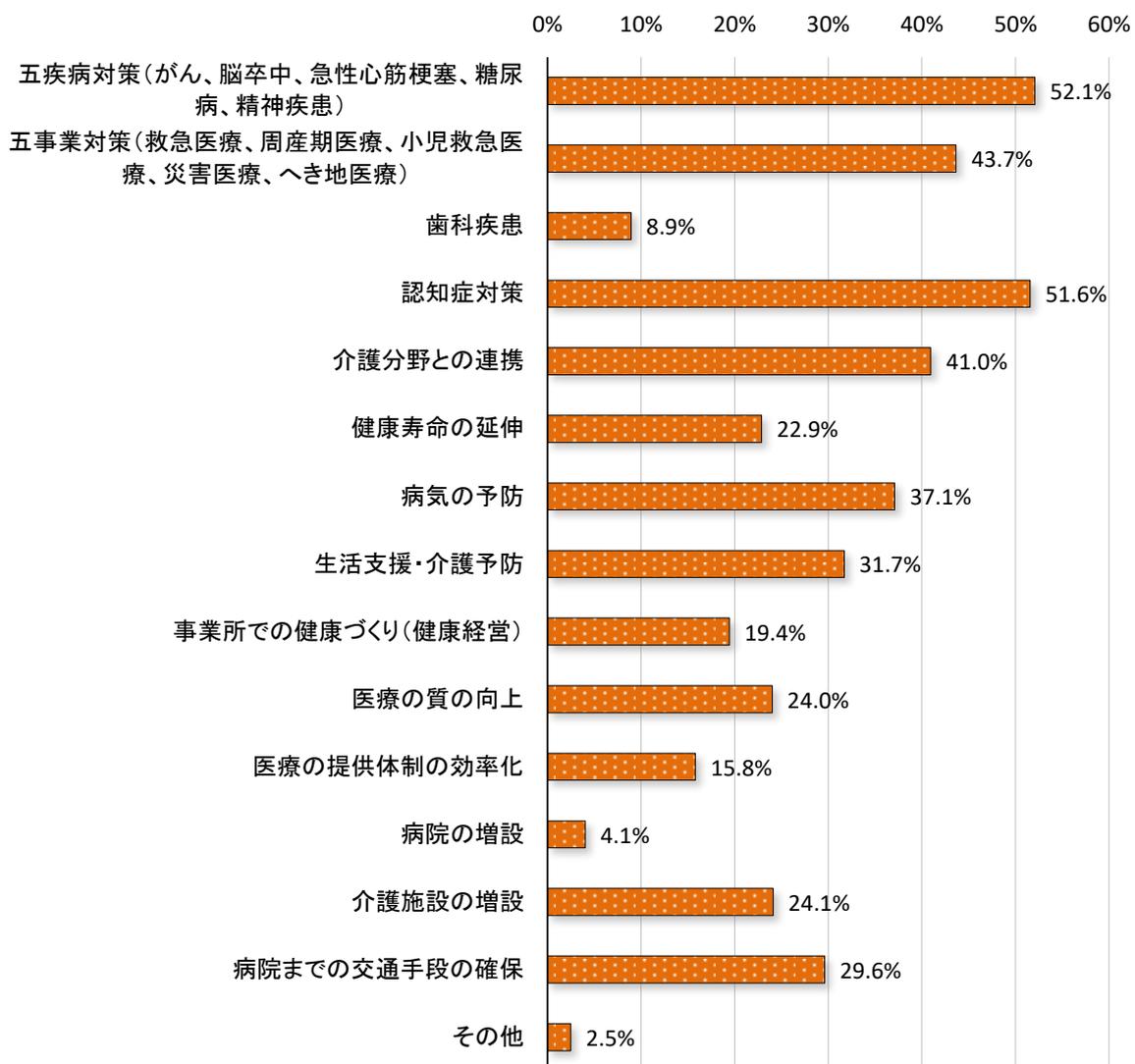
問 23 在宅医療等での対応がさらに進むためには、こういった環境の整備が必要と  
 思いますか。(複数回答可)

		サンプル数	ピヤ受 ス在 の宅 の医 備療 ・介 護サ ー シ ー 設	体 制 4 時 間 の 対 応 ・ 支 援	師 日 常 の 療 養 生 活 で の 医 療 支 援	の 行 政 や 病 院 ・ 診 療 所 等	専 門 的 な 人 材 の 確 保	切 な 「 看 取 り 」 に 対 す る 適	そ の 他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)							
全体		962	680 70.7%	517 53.7%	315 32.7%	432 44.9%	442 45.9%	285 29.6%	17 1.8%
性別	男性	485	343 70.7%	256 52.8%	151 31.1%	216 44.5%	224 46.2%	126 26.0%	8 1.6%
	女性	476	336 70.6%	260 54.6%	163 34.2%	215 45.2%	217 45.6%	158 33.2%	9 1.9%
年代別	10歳代・20歳代	46	27 58.7%	21 45.7%	15 32.6%	24 52.2%	27 58.7%	11 23.9%	1 2.2%
	30歳代	128	91 71.1%	68 53.1%	43 33.6%	54 42.2%	66 51.6%	42 32.8%	3 2.3%
	40歳代	252	164 65.1%	125 49.6%	76 30.2%	130 51.6%	111 44.0%	67 26.6%	6 2.4%
	50歳代	265	197 74.3%	158 59.6%	84 31.7%	116 43.8%	114 43.0%	82 30.9%	4 1.5%
	60歳代	209	162 77.5%	113 54.1%	72 34.4%	87 41.6%	94 45.0%	65 31.1%	1 0.5%
	70歳以上	60	38 63.3%	31 51.7%	24 40.0%	21 35.0%	29 48.3%	16 26.7%	2 3.3%
	無回答	2	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696	494 71.0%	384 55.2%	234 33.6%	321 46.1%	326 46.8%	205 29.5%	15 2.2%
	日置市	54	40 74.1%	22 40.7%	12 22.2%	24 44.4%	22 40.7%	13 24.1%	1 1.9%
	いちき串木野市	25	19 76.0%	10 40.0%	5 20.0%	10 40.0%	10 40.0%	12 48.0%	1 4.0%
	枕崎市	30	18 60.0%	15 50.0%	7 23.3%	16 53.3%	14 46.7%	9 30.0%	0 0.0%
	指宿市	52	33 63.5%	33 63.5%	20 38.5%	19 36.5%	28 53.8%	17 32.7%	0 0.0%
	南九州市	40	31 77.5%	20 50.0%	14 35.0%	15 37.5%	17 42.5%	8 20.0%	0 0.0%
	南さつま市	32	22 68.8%	18 56.3%	7 21.9%	14 43.8%	8 25.0%	10 31.3%	0 0.0%
	その他	33	23 69.7%	15 45.5%	16 48.5%	13 39.4%	17 51.5%	11 33.3%	0 0.0%
医療 機 関 の 受 診 状 況	定期的に通院	446	326 73.1%	257 57.6%	156 35.0%	201 45.1%	206 46.2%	136 30.5%	7 1.6%
	1年以内に受診	423	293 69.3%	222 52.5%	133 31.4%	188 44.4%	201 47.5%	128 30.3%	6 1.4%
	3年以内に受診	65	43 66.2%	28 43.1%	18 27.7%	31 47.7%	27 41.5%	15 23.1%	3 4.6%
	3年以上未受診	25	16 64.0%	9 36.0%	7 28.0%	10 40.0%	6 24.0%	5 20.0%	1 4.0%
	無回答	3	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

## ⑥ 将来の地域医療における重要な役割と課題

将来の地域医療において重要と考えられる役割や課題については、「五大疾病対策」(52.1%)、認知症対策(51.6%)と答えた者の割合が高かった。また、全体の29.6%が「病院までの交通手段の確保」と答えており、地域別では日置市(46.3%)、南九州市(37.5%)、南さつま市(37.5%)において高率であった。

[将来の地域医療における重要な役割と課題]



問 24 これからの地域医療を考えたときに、特に重要と考えられる役割や課題についてお聞かせ下さい。(複数回答可)

		サンプル数	五疾病対策 (がん、脳卒中、 急性心筋梗 塞、糖尿病、 精神疾患)	救急医療 (救急医療、周産期医療、 災害医療、へき地医療)	歯科疾患	認知症対策	介護分野との連携	健康寿命の延伸	病気の予防	生活支援・介護予防	事業所での健康づくり (健康経営)	医療の質の向上	医療の提供体制の効率化	病院の増設	介護施設の増設	病院までの交通手段の確保	その他
		上段:人数(人) 下段:割合(%)															
全体		962	501 52.1%	420 43.7%	86 8.9%	496 51.6%	394 41.0%	220 22.9%	357 37.1%	305 31.7%	187 19.4%	231 24.0%	152 15.8%	39 4.1%	232 24.1%	285 29.6%	24 2.5%
性別	男性	485	268 55.3%	224 46.2%	33 6.8%	242 49.9%	198 40.8%	122 25.2%	165 34.0%	128 26.4%	98 20.2%	116 23.9%	79 16.3%	23 4.7%	114 23.5%	128 26.4%	18 3.7%
	女性	476	232 48.7%	195 41.0%	52 10.9%	253 53.2%	195 41.0%	97 20.4%	191 40.1%	176 37.0%	88 18.5%	114 23.9%	72 15.1%	15 3.2%	117 24.6%	156 32.8%	6 1.3%
	無回答	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%
年代別	10歳代・20歳代	46	24 52.2%	15 32.6%	5 10.9%	23 50.0%	17 37.0%	13 28.3%	19 41.3%	12 26.1%	9 19.6%	16 34.8%	7 15.2%	4 8.7%	12 26.1%	11 23.9%	1 2.2%
	30歳代	128	65 50.8%	69 53.9%	9 7.0%	64 50.0%	43 33.6%	26 20.3%	51 39.8%	50 39.1%	32 25.0%	35 27.3%	23 18.0%	5 3.9%	30 23.4%	41 32.0%	2 1.6%
	40歳代	252	120 47.6%	106 42.1%	24 9.5%	111 44.0%	106 42.1%	48 19.0%	96 38.1%	75 29.8%	41 16.3%	53 21.0%	49 19.4%	13 5.2%	52 20.6%	83 32.9%	9 3.6%
	50歳代	265	143 54.0%	116 43.8%	27 10.2%	150 56.6%	114 43.0%	56 21.1%	90 34.0%	95 35.8%	54 20.4%	52 19.6%	36 13.6%	7 2.6%	66 24.9%	90 34.0%	7 2.6%
	60歳代	209	109 52.2%	93 44.5%	17 8.1%	118 56.5%	97 46.4%	61 29.2%	77 36.8%	58 27.8%	37 17.7%	58 27.8%	27 12.9%	8 3.8%	60 28.7%	48 23.0%	2 1.0%
	70歳以上	60	40 66.7%	21 35.0%	4 6.7%	29 48.3%	17 28.3%	16 26.7%	24 40.0%	14 23.3%	14 23.3%	15 25.0%	10 16.7%	2 3.3%	11 18.3%	12 20.0%	3 5.0%
	無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696	358 51.4%	304 43.7%	62 8.9%	363 52.2%	299 43.0%	162 23.3%	271 38.9%	229 32.9%	142 20.4%	161 23.1%	104 14.9%	27 3.9%	174 25.0%	192 27.6%	18 2.6%
	日置市	54	29 53.7%	24 44.4%	5 9.3%	29 53.7%	19 35.2%	9 16.7%	17 31.5%	14 25.9%	8 14.8%	14 25.9%	10 18.5%	1 1.9%	13 24.1%	25 46.3%	1 1.9%
	いちき串木野市	25	16 64.0%	11 44.0%	4 16.0%	13 52.0%	10 40.0%	8 32.0%	10 40.0%	7 28.0%	6 24.0%	5 20.0%	5 20.0%	2 8.0%	6 24.0%	7 28.0%	1 4.0%
	枕崎市	30	14 46.7%	16 53.3%	2 6.7%	13 43.3%	12 40.0%	2 6.7%	11 36.7%	11 36.7%	8 26.7%	9 30.0%	4 13.3%	0 0.0%	6 20.0%	8 26.7%	1 3.3%
	指宿市	52	23 44.2%	18 34.6%	7 13.5%	28 53.8%	21 40.4%	13 25.0%	19 36.5%	14 26.9%	6 11.5%	14 26.9%	6 11.5%	2 3.8%	10 19.2%	16 30.8%	2 3.8%
	南九州市	40	24 60.0%	14 35.0%	2 5.0%	19 47.5%	11 27.5%	8 20.0%	14 35.0%	12 30.0%	8 20.0%	10 25.0%	8 20.0%	3 7.5%	8 20.0%	15 37.5%	0 0.0%
	南さつま市	32	17 53.1%	18 56.3%	1 3.1%	16 50.0%	10 31.3%	6 18.8%	5 15.6%	7 21.9%	4 12.5%	12 37.5%	6 18.8%	1 3.1%	6 18.8%	12 37.5%	0 0.0%
	その他	33	20 60.6%	15 45.5%	3 9.1%	15 45.5%	12 36.4%	12 36.4%	10 30.3%	11 33.3%	5 15.2%	6 18.2%	9 27.3%	3 9.1%	9 27.3%	10 30.3%	1 3.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446	247 55.4%	200 44.8%	43 9.6%	245 54.9%	189 42.4%	104 23.3%	173 38.8%	145 32.5%	93 20.9%	109 24.4%	78 17.5%	14 3.1%	119 26.7%	131 29.4%	9 2.0%
	1年以内に受診	423	216 51.1%	184 43.5%	38 9.0%	212 50.1%	169 40.0%	94 22.2%	153 36.2%	136 32.2%	80 18.9%	103 24.3%	61 14.4%	17 4.0%	92 21.7%	123 29.1%	11 2.6%
	3年以内に受診	65	27 41.5%	28 43.1%	4 6.2%	29 44.6%	25 38.5%	16 24.6%	24 36.9%	17 26.2%	11 16.9%	12 18.5%	8 12.3%	5 7.7%	15 23.1%	21 32.3%	3 4.6%
	3年以上未受診	25	9 36.0%	6 24.0%	1 4.0%	8 32.0%	9 36.0%	6 24.0%	6 24.0%	6 24.0%	3 12.0%	6 24.0%	4 16.0%	3 12.0%	4 16.0%	8 32.0%	1 4.0%
	無回答	3	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%

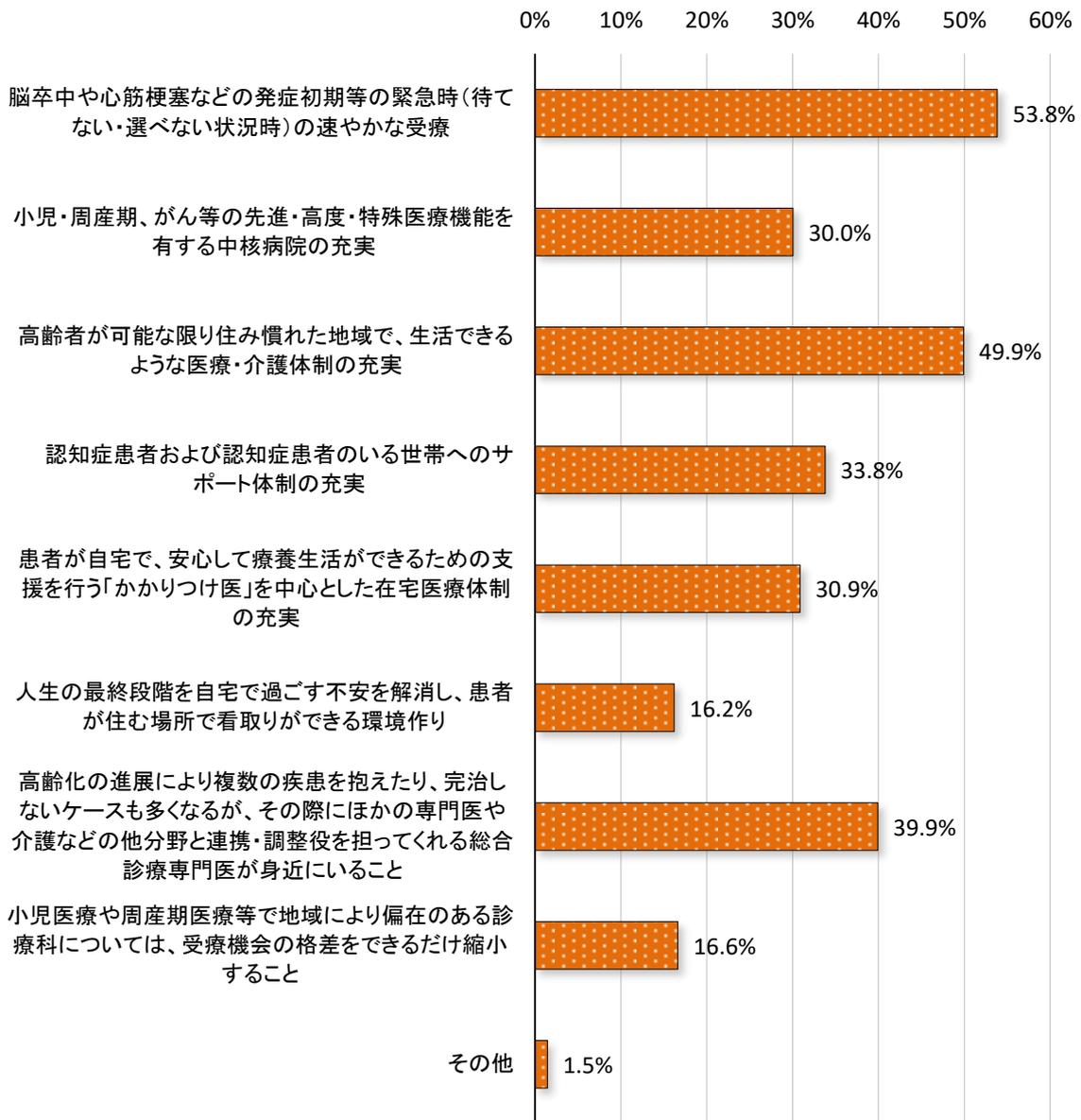
## (7) 協会けんぽに意見発信を期待する事項

全体の 53.8%が「脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時の速やかな受療」と答え、最も多かった。次いで、「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実」(49.9%)、「高齢化の進展により複数の疾患を抱えたり、完治しないケースも多くなるが、その際に他の専門医や介護などの他分野との連携・調整役を担ってくれる総合診療専門医が身近にいること」(39.9%)が多かった。

男女別では、「脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時の速やかな受療」(男性 59.2%、女性 48.3%)、「患者が自宅で安心して療養生活ができるための支援を行う『かかりつけ医』を中心とした在宅医療体制の充実」(男性 32.2%、女性 29.6%)、「人生の最終段階を自宅で過ごす不安を解消し、患者が住む場所で看取りができる環境づくり」(男性 17.1%、女性 15.3%)と答えるものの割合は男性の方が高く、男性は女性よりも高度医療や在宅での療養や看取りを希望しているものと考えられた。

女性では、「高齢化の進展により複数の疾患を抱えたり、完治しないケースも多くなるが、その際に他の専門医や介護などの他分野との連携・調整役を担ってくれる総合診療専門医が身近にいること」(男性 38.1%、女性 41.8%)、「認知症患者および認知症患者のいる世帯へのサポート体制の充実」(男性 32.0%、女性 35.7%)と回答する割合が高く、男性よりも「介護者としての要望」が高く、特に介護を担うと考えられる年代で高率であった。

[協会けんぽに意見発信を期待する事項]



問 25 地域医療構想の一環として、二次医療圏（鹿児島県は9圏域）に対し8つの「地域医療構想調整会議」が設置され、圏域ごとの医療提供体制について協議がされます。

協会けんぽもその構成員として参画いたしますが、我々は医療を受ける立場からの意見発信が大事であると考えます。

あなたがお住まいの地域において、次の1～8までの項目で優先したいことを3つ選んでください。

	サンプル数	脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時 （待てない・選べない状況時）の速やかな受療	小児・周産期、がん等の先進・高度・特殊医療 機能を有する中核病院の充実	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実	認知症患者および認知症患者のいる世帯へのサポート体制の充実	患者が自宅で、安心して療養生活ができるための医療体制の充実 「かかりつけ医」を中心とした在宅医療の充実	人生の最終段階を自宅で過ごす不安を解消し、患者が住む場所で見取りができる環境作り	高齢化の進展により複数の疾患を抱えたり、完治しにくいなど多岐にわたる医療ニーズに対応し、専門医や介護など他の分野と連携・調整を図ることを担う総合診療専門医が身近に調整役をこなすこと	小児医療や周産期医療等で地域により偏在のある診療科については、受療機会の格差をできる限り縮小すること	その他	
											上段:実数(人) 下段:割合(%)
全体	962	518 53.8%	289 30.0%	480 49.9%	325 33.8%	297 30.9%	156 16.2%	384 39.9%	160 16.6%	14 1.5%	
性別	男性	485	287 59.2%	145 29.9%	247 50.9%	155 32.0%	156 32.2%	83 17.1%	185 38.1%	82 16.9%	5 1.0%
	女性	476	230 48.3%	143 30.0%	232 48.7%	170 35.7%	141 29.6%	73 15.3%	199 41.8%	78 16.4%	9 1.9%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46	25 54.3%	15 32.6%	20 43.5%	12 26.1%	6 13.0%	6 13.0%	13 28.3%	13 28.3%	0 0.0%
	30歳代	128	62 48.4%	61 47.7%	50 39.1%	47 36.7%	37 28.9%	19 14.8%	40 31.3%	37 28.9%	3 2.3%
	40歳代	252	137 54.4%	85 33.7%	119 47.2%	92 36.5%	66 26.2%	38 15.1%	100 39.7%	46 18.3%	4 1.6%
	50歳代	265	141 53.2%	73 27.5%	138 52.1%	95 35.8%	77 29.1%	45 17.0%	122 46.0%	34 12.8%	4 1.5%
	60歳代	209	119 56.9%	43 20.6%	116 55.5%	71 34.0%	87 41.6%	39 18.7%	85 40.7%	23 11.0%	1 0.5%
	70歳以上	60	34 56.7%	12 20.0%	36 60.0%	7 11.7%	23 38.3%	9 15.0%	23 38.3%	6 10.0%	2 3.3%
	無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	696	372 53.4%	202 29.0%	343 49.3%	241 34.6%	216 31.0%	114 16.4%	295 42.4%	112 16.1%	9 1.3%
	日置市	54	30 55.6%	13 24.1%	29 53.7%	17 31.5%	18 33.3%	12 22.2%	21 38.9%	11 20.4%	0 0.0%
	いちき串木野市	25	13 52.0%	7 28.0%	15 60.0%	9 36.0%	4 16.0%	3 12.0%	9 36.0%	4 16.0%	1 4.0%
	枕崎市	30	20 66.7%	13 43.3%	16 53.3%	8 26.7%	9 30.0%	4 13.3%	10 33.3%	4 13.3%	1 3.3%
	指宿市	52	31 59.6%	12 23.1%	26 50.0%	18 34.6%	15 28.8%	8 15.4%	15 28.8%	11 21.2%	1 1.9%
	南九州市	40	21 52.5%	9 22.5%	17 42.5%	15 37.5%	17 42.5%	5 12.5%	11 27.5%	6 15.0%	0 0.0%
	南さつま市	32	14 43.8%	17 53.1%	20 62.5%	7 21.9%	6 18.8%	4 12.5%	12 37.5%	8 25.0%	1 3.1%
	その他	33	17 51.5%	16 48.5%	14 42.4%	10 30.3%	12 36.4%	6 18.2%	11 33.3%	4 12.1%	1 3.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446	254 57.0%	112 25.1%	227 50.9%	141 31.6%	151 33.9%	72 16.1%	186 41.7%	56 12.6%	8 1.8%
	1年以内に受診	423	212 50.1%	147 34.8%	210 49.6%	146 34.5%	120 28.4%	70 16.5%	165 39.0%	87 20.6%	4 0.9%
	3年以内に受診	65	36 55.4%	20 30.8%	29 44.6%	27 41.5%	20 30.8%	11 16.9%	21 32.3%	14 21.5%	0 0.0%
	3年以上未受診	25	15 60.0%	9 36.0%	12 48.0%	9 36.0%	5 20.0%	2 8.0%	11 44.0%	3 12.0%	2 8.0%
	無回答	3	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

## 4 調査票

### 地域医療に関するアンケート調査

#### 1. あなた自身についておうかがいします。

##### 問1 性別（1つだけ）

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

##### 問2 年齢（1つだけ）

- |             |        |         |
|-------------|--------|---------|
| 1 10歳代・20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代  |
| 4 50歳代      | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

##### 問3 お住まいの地域（1つだけ）

- |         |          |           |
|---------|----------|-----------|
| 1 鹿児島市  | 2 日置市    | 3 いちき串木野市 |
| 4 枕崎市   | 5 指宿市    | 6 南九州市    |
| 7 南さつま市 | 8 その他（ ） |           |

##### 問4 あなたは、病院や診療所（クリニック）などの医療機関にはどれくらい受診していますか。（1つだけ）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 現在、定期的に通院している  | 2 1年以内に利用したことがある |
| 3 3年以内に利用したことがある | 4 ここ3年以上利用していない  |

#### 2. かかりつけ医についておうかがいします。

##### 「かかりつけ医」とは？

かかりつけ医とは、「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」のことです。

##### 問5 あなたには、かかりつけ医がいますか。（1つだけ）

- |       |                |
|-------|----------------|
| 1 いる  | 2 いないがいるとよいと思う |
| 3 いない | 4 わからない        |

##### 問6 問5で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。 かかりつけ医がいない理由は何ですか。（いくつでも）

- |                              |
|------------------------------|
| 1 現在、健康でかかりつけ医を持つ必要がないから     |
| 2 近くに適当な医療機関・医師がないから         |
| 3 どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから |
| 4 医療費に対する経済的な負担が大きと思うから      |
| 5 理由は特にない・わからない              |
| 6 その他（ ）                     |

問7 かかりつけ医を探すとき、どのような情報が役立つと思いますか。(いくつでも)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 医師の診察方針や医療への考え方 | 2 医師の得意分野や経歴   |
| 3 連携している医療機関や介護施設 | 4 時間外、緊急時の対応   |
| 5 医師の治療実績、手術件数など  | 6 往診などの在宅医療の可否 |
| 7 医師の顔写真や年齢       | 8 特にない・わからない   |
| 9 その他 ( )         |                |

### 3. 通常の診察時間以外における病院の受診についておうかがいします。

問8 最近1年間で、あなた自身が夜間又は休日(日祝日、年末年始等)に医療機関を受診したことがありますか。(1つだけ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問9 問8で「1 ある」を選ばれた方におうかがいします。

あなたは、どのような理由で夜間又は休日に受診しましたか。(1つだけ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった(けがをした) |
| 2 平日日中は医療機関に行く時間がない          |
| 3 その他 ( )                    |

問10 問8で「ない」を選ばれた方におうかがいします。

夜間や休日に医療機関を受診しなかった理由を教えてください。(1つだけ)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1 平日の日中に行くようにしている | 2 医療機関に行く機会(必要)がなかった |
| 3 医療機関に行く経済的余裕がない | 4 その他 ( )            |

問11 緊急性がないにもかかわらず、夜間や休日などに救急外来を受診する「コンビニ受診」が増えていると言われています。このような救急外来の受診が増えることで、重症患者への対応の遅れや医師や看護師への負担増などが問題となっています。

「コンビニ受診」を減らすために、どのような施策が必要だと思いますか。(いくつでも)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 小児救急電話相談(#8000)など救急相談機関の周知徹底、取組の推進 |
| 2 病気やけがの緊急性の基準がわかる冊子の配布などの情報提供       |
| 3 受診のために休暇を取りやすくする環境の整備              |
| 4 通常の診療時間の拡大                         |
| 5 医療スタッフの育成強化や増員                     |
| 6 夜間専門医院の開設                          |
| 7 その他 ( )                            |

#### 「小児救急電話相談(#8000)」とは？

夜間における子どもさんの急な病気・急なけがなどについて、看護師等が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行う事業。鹿児島県でも実施しています。

#### 4. 地域の医療に対する満足度についておたずねします。

問 12 あなたは、あなたがお住まいの地域の医療について満足していますか。(1つだけ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 満足している     | 2 まあまあ満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 満足していない    |
| 5 わからない      |              |

問 13 お住まいの地域の医療施設について、どのように感じていますか。(1つだけ)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 医療施設はたくさんあるので十分           |
| 2 医療施設はあるので特に不便はない          |
| 3 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科がなくて不便 |
| 4 医療施設が少なくて(なくて)困っている       |

問 14 問 13 で「3」または「4」を選ばれた方におうかがいします。

お住まいの地域に「無くて困っている」又は「無いと不安である」診療科は何ですか。  
(いくつでも)

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 1 内科        | 2 小児科         | 3 外科     |
| 4 整形外科      | 5 産婦人科        | 6 耳鼻咽喉科  |
| 7 眼科        | 8 皮膚科         | 9 泌尿器科   |
| 10 精神科・心療内科 | 11 アレルギー科     | 12 脳神経外科 |
| 13 心臓血管外科   | 14 リハビリテーション科 | 15 歯科    |
| 16 その他 ( )  |               |          |

#### 5. 地域医療構想についておうかがいします。

##### 「地域医療構想」とは？

「地域医療構想」とは、高齢化や年齢構成の変化等により、医療ニーズが増加・変化するため、将来(2025年)のあるべき医療提供体制を推計し、それを実現するためのもので、各都道府県で策定されています。

鹿児島県においては、2016年11月に取りまとめられ、二次医療圏(鹿児島県は9圏域)に対し8つの「地域医療構想調整会議」を通じて2025年の実現に向けた協議が進められています。

背景には、次のような課題があります。

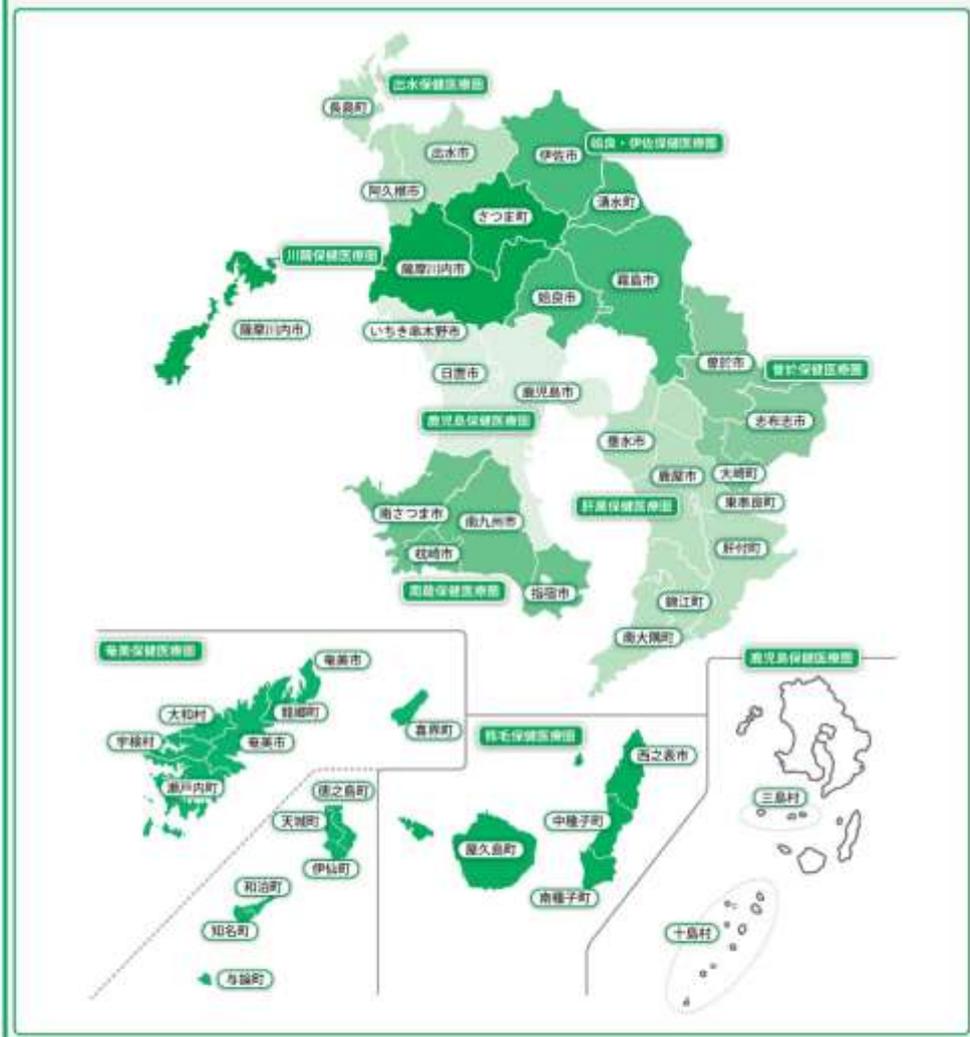
1. 2025年には団塊の世代が75歳を迎え、医療・介護需要の増大や、慢性の病気を多く抱える患者の増加など、医療に対する要望の変化が見込まれます。
2. そのため、患者がその状態に見合った、より良質な医療サービスを受けられるよう、病院の機能を分けた上で、各病院の連携を進める必要があります。
3. また、限りある地域の医療資源を効率的かつ効果的に活用し、介護も含めた地域包括ケアシステムを構築・推進していく必要があります。

### 「二次医療圏」とは？

地域の実情に応じた医療を提供する体制を確保するために、都道府県が設定する地域単位をいいます。

日常生活に密着した保健医療を提供する一次医療圏（基本的に市町村単位）に対して、複数の市町村単位で、健康増進・疾病予防から入院治療まで一般的な保健医療を提供するものを二次医療圏と定義されています。

鹿児島県には（1）鹿児島保健医療圏、（2）南薩保健医療圏、（3）川薩保健医療圏、（4）出水保健医療圏、（5）始良・伊佐保健医療圏、（6）曾於保健医療圏、（7）肝属保健医療圏、（8）熊毛保健医療圏、（9）奄美保健医療圏の9つの二次医療圏があります。



**「地域包括ケアシステム」とは？**

地域包括ケアシステムとは、要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のことです。地域包括ケアシステムは、それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指しています。介護保険制度の枠内でだけ完結するものではなく、介護保険制度と医療保険制度の両分野から、高齢者を地域で支えていくものとなります。

**問 15 あなたは、鹿児島県が策定した地域医療構想をご存じですか。(1つだけ)**

- 1 聞いたこともあり、内容も知っている      2 聞いたことはあるが、内容は知らない  
3 知らない (初めて聞いた)

**問 16 「地域医療構想」の背景にある課題(3頁の「地域医療構想とは?」の後半部分)について、あなたはご存じですか。(1つだけ)**

- 1 聞いたこともあり、内容も十分理解している      2 聞いたことはあるが、内容は十分には知らない  
3 知らない (初めて聞いた)

**問 17 医療機関には、**

- 軽いけがや風邪等の入院や手術を伴わない軽症に対応する医療機関 (一次)
  - 胃潰瘍など入院や手術を伴う重症に対応する医療機関 (二次)
  - 交通事故による多発外傷など生命の危機に係わる症状に対応する医療機関 (三次)
- とそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか。(1つだけ)

- 1 知っていて、どの医療機関が該当するかわかる  
2 知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない  
3 聞いたことはある  
4 知らない (初めて聞いた)

**問 18 「地域医療構想」では、将来必要な医療について、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4機能に分け、各病院の役割を見えやすくし、役割に沿った医師や設備の配置を行うという考えに基づいています。**

**それぞれの病院ごとに役割が違うことを知っていますか。(1つだけ)**

- 1 知っていて、どの医療機関が該当するかわかる  
2 知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない  
3 聞いたことはある  
4 知らない (初めて聞いた)

**～用語解説～**

- 高度急性期機能・・・特に症状が重い患者を受け入れる機能 (集中治療室など)
- 急性期機能・・・救急や症状が重い患者を受け入れる機能
- 回復期機能・・・退院を目指し、リハビリなどを集中的に提供する機能
- 慢性期機能・・・長期に渡り療養が必要な重度の患者等を受け入れる機能



問 23 在宅医療等での対応がさらに進むためには、こういった環境の整備が必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備
- 2 24時間の対応・支援体制
- 3 日常の療養生活での医師の十分な支援
- 4 行政や病院・診療所等の連携
- 5 専門的な人材の確保
- 6 「看取り」に対する適切なケア
- 7 その他( )

問 24 これからの地域医療を考えたときに、特に重要と考えられる役割や課題についてお聞かせください。(いくつでも)

- 1 五疾病対策(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)
- 2 五事業対策(救急医療、周産期医療、小児救急医療、災害医療、へき地医療)
- 3 歯科疾患
- 4 認知症対策
- 5 介護分野との連携
- 6 健康寿命の延伸
- 7 病気の予防
- 8 生活支援・介護予防
- 9 事業所での健康づくり(健康経営)
- 10 医療の質の向上
- 11 医療の提供体制の効率化
- 12 病院の増設
- 13 介護施設の増設
- 14 病院までの交通手段の確保
- 15 その他( )

#### 「健康経営」とは？

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながるという考え方です。

## 7. 協会けんぽに意見発信を期待する事項についておうかがいします。

### 協会けんぽと「地域医療構想調整会議」について

地域医療構想は、2025年に向け、各都道府県において、地域の医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・病院協会・訪問看護・介護事業者など医療・介護関係の代表者や、市町村、医療保険者、その他の関係者を集めた「地域医療構想調整会議」を通じて進められています。

協会けんぽも、この調整会議に医療保険者の立場として参画し、医療を受ける立場からの意見を発信することに心掛けています。

問 25 地域医療構想の一環として、二次医療圏（鹿児島県は9圏域）に対し8つの「地域医療構想調整会議」が設置され、圏域ごとの医療提供体制について協議がされます。協会けんぽもその構成員として参画いたしますが、我々は医療を受ける立場からの意見発信が大事であると考えます。

あなたがお住まいの地域において、次の1～8までの項目で優先したいことを3つ選んでください。

- 1 脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時（待てない・選べない状況時）の速やかな受療
- 2 小児・周産期、がん等の先進・高度・特殊医療機能を有する中核病院の充実
- 3 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実
- 4 認知症患者および認知症患者のいる世帯へのサポート体制の充実
- 5 患者が自宅で、安心して療養生活ができるための支援を行う「かかりつけ医」を中心とした在宅医療体制の充実
- 6 人生の最終段階を自宅で過ごす不安を解消し、患者が住む場所で看取りができる環境作り
- 7 高齢化の進展により複数の疾患を抱えたり、完治しないケースも多くなるが、その際にほかの専門医や介護などの他分野と連携・調整役を担ってくれる総合診療専門医が身近にいること
- 8 小児医療や周産期医療等で地域により偏在のある診療科については、受療機会の格差をできるだけ縮小すること
- 9 その他、自由にご記入ください

### 「総合診療専門医」とは？

主に地域を支える診療所や病院において、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康にかかわるその他の職種等と連携し、地域の医療、介護、保健など様々な分野でリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供する医師。

ご協力ありがとうございました。

回答内容などを再度ご確認ください、9月25日（水）までに投函してください。